武石温泉うつくしの湯整備事業武石温泉うつくしの湯施設改修建築主体工事

上田市都市建設部建築課 有限会社 設計工房風の色

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1				
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2				
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3				
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4				
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5				
A-06	構造関係 特記仕様書 1				
A-07	解体工事 特記仕様書 1				
A-08	敷地案内図・配置図				
A-09	地階平面図(現況図)				
A-10	1階平面図(現況図)				
A-11	塔屋平面図・屋根伏図(現況図)				
A-12	断面図(現況図)				
A-13	仕上表(現況・改修)				
A-14	1階平面図(改修図)				
A-15	1 階平面詳細図(現況)解体指示図				
A-16	1階平面詳細図(改修図)				
A-17	1 階天井伏せ図(現況)				
A-18	1階天井伏せ図(改修)				
A-19	建具表・各詳細図				
A-20	厨房・大広間仕切り壁改修詳細図				
A-21	杭伏図(鋼管圧入工)				
A-22	外構解体指示図及び外構復旧指示図				
A-23	仮設計画図				

#	このノ」の退較供事業	① 石綿含有建材の事が問	調査範囲 ※ 図示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[1. 5. 1]	③ 騒音・粉塵等の対策		並 止 2. 1	(2. 2. 1) [2. 1. 3]	4. 改質アスファルト	防水層の種別		[3.4.2~
武石温泉 武石温泉	とうつくしの湯整備事業 とうつくしの湯施設改修 建築主体工事特記仕様書	事前調	分析調査 ※ 10章解体工事よる			※ 防音パネル ○ 防音シート・ 設置範囲及び高さ	養生ソート		シート防水	工法 種別 施工箇所		高日射反射率 防水の適用 備考
I 工事概要		施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※ 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示	[1. 6. 2] [1. 6. 3]	4. 仮設間仕切	※ 図示 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所	· 図示 ・	[2. 3. 2]		• AS-T1 • MA4S • AS-T2	(種類)	
1. 工事場所	上田市上武石1454-3	① 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用す ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の通			仮設間仕切りの種別と材質等				• AS-J2 • AS-T3	※ 製造所の 仕様による	
2. 敷地面積(m²)			受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものと			種別 下地 ・ A種 ・木 ・せっこ		<u>塗装 充填材</u> ・無し ※有り		- M3AS - AS-T4	· 図示	
3. 改修対象建物			(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること			・ B種 ・ 軽量鉄骨 ・ 合板(※ C種 単管 防炎シー	(※ 9.0 · 図示)	·片面		POAS AS-J1 AS-J3	(使用量) ※ 製造所の	
建物別	種 別 構 造 階 数 梁間(m) 桁行(m) 建築面積(m²) 延面積(m²)		(3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること			充填材: ※ グラスウール32k (厚:5				ASI-T1	(材質) ・ 断熱B 仕様による ・ 図示	防湿用シート
温泉施設	改修 鉄骨造 B1、地上2 1,262㎡ 1,337㎡		(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること			仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 材質	仕上げ塗着	装 充填材		- M3ASI - M4ASI	- (厚さ) · 25mm	・ 設ける・ 設けない
			これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は	ま外部		※ 木製 · 図示 ※ 合板張り程		※ 有り		· POASI · ASI-J1		
			機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、(一社)公共建築協会で発行する「建築材料・ 設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名	簿(最新		充填材: ※グラスウール32k (厚:50		<u>・無し</u>		改質アスファルトシートの種類及び厚さ		
T			版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。 また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督期	職員の	⑤ 監督員事務所			[2. 4. 1]		※ 改修標仕表3.4.1から表3.4.3による	•	542 p + / (g -).
Ⅲ 建築改修工事仕様 1. 共通仕様			承諾を受けた材料とする。			規模 · 10㎡程度 · 20㎡程度	· () m²程度			粘着層付改質アスファルトシート及び部: ※ 改修標仕表3.4.1から表3.4.3による	•	里類及び厚さ
(1) 図面及び特記仕村	美書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書	① 技能士	※ 適用する(一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。)	[1.7.2]	1. 一般事項	降雨等に対する養生方法(とい共) ※ 改修標仕3.1.3(5)(7)~(f)による。		[3. 1. 3]		押え金物の材質及び形状 ※ アルミ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の		•
また、改修標仕に	新版)」(以下、「改修標仕」という。)による。 記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新		- 適用しない ・ 以下の表による他監督員の指示による 適用工事種目 技能検定作業	水 改	 2. 既存防水層の処理	 既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲 ・	図示・)・行	iわない [3.2.3, 4]		※ 改質アスファルトシート製造所の指	定による ・	
(2) 電気設備工事及で	景仕」という。)、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(最新版)」(以下、「解体共仕」)による。 バ機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。		仮設工事 ・とび作業 防水改修工事 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業			既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ・ 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・			5. 合成高分子系			[3. 5. 2~4
2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に() 印の付いたものを適用する。		・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業	作業			行わない		ルーフィングシート	\		高日射
(2) 特記事項は、 ①	ー いの付いたものを適用する。 場合は、※印の付いたものを適用する。		・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチエ法防水工事作業			ルーフドレン回りの処理 改修用ドレン(POAS工法、POASI工法、	. POD工法、PODI工法、POS工法、POSI	[3.2.5] 工法及びPOX工法の場合)	防水	工法 種別 施工箇所	断熱材	反射率 防水の 備考
○ 印と ⊗ 印の	付いた場合は、共に適用する。 P[]内表示番号は、改修標性の当該項目、当該図又は当該表を示す。		・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業 ・が壁改修工事 ・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業			・ 設ける ・ 設けない既存防水層の下地補修		[3. 2. 6]		· S-F1	<u> </u>	適用
(4) 特記事項に記載の	D()内表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		建具改修工事・ 木製建具(手・機械)加工作業・ ビル用サッシ施工作業			補修箇所の形状、長さ、数量等 既存保護層の補修及び処置(POS工法及び				• S4S • S-F2		•
(5) 特記事項に記載の	Dく〉内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	4	・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業 内装改修工事 ・ ブラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーベット系床仕上げ工事作	作業		既存保護層を撤去し防水層を非撤去と ※ 改修標仕 3.2.6(4)(ウ)(g)①~③	した立上り部等の補修及び処置			• POS • S-M1 • S-M2		•
章 項目	特 記 事 項	4	・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ 銅製下地工事作業			架台回り等の処置		1.什什如 · 按层山 3 口如饮 4		· S3S · S-F1 · S-F2		
① ① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営継部監修 ・敷地調査共通仕検書 国土交通省大臣官房官庁営継部整備課		・ 壁装作業 ・ 大工工事作業 ・ タイル張り作業 ・ 建築塗装作業			設備機器架台、配管受部、パラペット 欠損部及び防水層末端部の納まり部		(刊17部、培壓出人口部等の)		- M4S - S-M1 - S-M2		
 般 共	※ 工事写真の撮り方 建癸編 国土交通省大臣官房官庁営籍部監修 ・公共木造建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営籍部監修			作業		※ 監督職員との協議による ・	図示・			- POSI - SI-F1	(材質) ・ 断熱B ・ 断熱C ・ 図示	
通事項	※ 建築改修工事監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		コンクリートブロック・ ・ コンクリートブロック工事作業		3. アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別		[3. 3. 2~5]		- S3SI - S1-F2	(厚さ)	
	※ 建築工事監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築構造設計基準 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		ALCパネル工事 ・ エーエルシーパネル工事作業 石工事 ・ 石張り作業			工法種別施工箇所	断熱材 絶縁用シー	ト立上り部の保護		· S4SI · SI-M1	· 25mm · (材質)	
	※ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編) 建設省建設経済局建設業課・ 住宅局建築指導課監修		植栽工事 ・造園工事作業 ・畳製作 ・家具(手・機械)加工作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業	*		· A-1	※ ポリエチレ フィルム	· >			 ・断熱B ・断熱C ・断熱D ・図 (厚さ) (防湿用フィルム) 	
	・ 長野県建設リサイクル推進指針 ・ 建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という)		・ カーテンエ事作業			- A-3	厚:0.15mm以	以上		- M4SI - SI-M2 - P1S - S-C1	· 25mm · ※ 設ける · 設けた	
	各基準等は最新年度版を使用する。	13. 施工の検査等	・ 見本施工の実施 ()	[1.7.5]		• P1B • B-1 • B-2		· 乾式保護材		S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様	 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 	*
② 工事実績情報の登録	※ 適用する ・ 適用しない [1.1.4]	① 化学物質の濃度測		[1.7.9]		• AI-1	(材質) ※ 断熱A ※ フラット	・コンクリート押え		仕上塗料の種類と使用量 ルーフィングシートの種類及び厚さ	※ ルーフィングシートの製造所 ※ 改修標仕表3.5.1から表3.5.31	所の仕様による
③ 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による [1.2.2]		検査機関 ※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者			I • P2Δ1 • Δ1-2	(厚さ) · 25mm ヤーンクロ			絶縁用シートの材質	※ 発泡ポリエチレンシート	
	※ 風速 (V _o = 30) ※ 地表面粗度区分 (・ I ・ II ・ II ・ II ・ II ・ II ・ II ・ I		測定物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン			· P1BI · BI-1	· 70g/㎡程度	(JIS R 1250による)		固定金具の材質及び寸法形状 接着工法の脱気装置の種類及び設置数量		
	※ 積雪区分 建告示第1455号 別表(27)		※ パラジクロロベンゼン ※ スチレン・			BI-2				防水下地がPCコンクリート部材又はALCパ 目地処理(S-C1の場合) ※ 図示	(ネル下地の場合の処理 ・	
	建築非構造部材の耐風及び耐震設計 耐風圧性能(建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)		測定個所 小広間・厨房 	個所_		改質アスファルトルーフィングシート ※ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9によ				入隅部の増張り(S-F1、SI-F1、S-C1の 機械的固定工法の場合の一般部のル→フ		
	建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 外壁、屋根等の非構造部材の耐震設計は次による		※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指針値(厚労省指針)			部分粘着層付改質アスファルトルーフ ※ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9によ	ィングシートの種類及び厚さ			建築基準法に基づき定まる風圧力に対 ※ 適用する (1一般共通事項により	応した工法	
	検討に用いる層間変形角 (※1/100 (S造) 1/200 (RC造、SRC造) 設計用水平震度 (※1.0)		ホルム キシレン エチル パラジクロロ スチレン 催 アルデヒド トルエン キシレン ベンゼン ベンゼン			立上り部への断熱材及び絶縁用シート	の設置			・ 適用しない	数垣川の相足による)	
	設計用鉛直震度 (※0.5 ·)		0.08ppm 0.07ppm 0.20ppm 0.88ppm 0.04ppm 0.05ppm			※ 製造所の指定による ・ 図示 乾式保護材	•			屋内保護密着工法の保護層 保護モルタルの塗厚さ ※図示・		
④ 電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない [1.3.3]	15. 技術検査	技術検査(中間技術検査)の実施回数及び実施する段階	[1. 8. 2]		窯業系パネル:無石綿の繊維質原金属複合板:金属板と樹脂を積層	料等を主原料として、板状に押出成形 一体化したもの	ジレオートクレーブ養生したもの		立上り部の保護モルタル塗厚 ※ 7mm	n以下 · 図示 ·	
施工条件明示項目	施工順序、工事車両の駐車場所、資機材の保管場所、その他 [1.3.5]		・ 請負金額5000万円以上の中間検査 ・ 部分使用の中間検査 ・ 不可視部分の中間検査				材等等品質性能評価による評価名簿記 て仕上げ ※ 水下 80mm以上		5. 塗膜防水		:上塗料の 高日射反射率 _{保護屋}	[3. 6. 2~4
	※ 現場説明書による・ 図示	(1) 完成図等	※ 作成する [1.9.1 ※ 完成図(※ 設計図書で示したもの全て ・ 改修標仕表1.8.1による ・ 監督員の指示による	1~1.9.3] よる)		床	タイル張り ※ 水下 60mm以上			上法 程別 施工固所 種類	類と使用量 防水の適用 保護暦	備考
⑥ 発生材の処理等	※ 10章 解体工事による ・ 構外搬出適正処理 ・ 現場説明書による [1.3.12] また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。		作成方法 ※ 製本 (※ 見開きA3縮小版 2~3部(黒表紙金文字製本) 監督員の指 ・見開きA1版 1部(ビニール製本)			コンクリートの平坦さ 改修標仕表 屋根排水溝 ※ 図示・	とB.I.5(・a種 ・D種 ・C種)			· POX · X-2	製造所の 仕様による	
① 環境への配慮			※ CADデータ (※ CD-R (1部) ・) ※ 保全に関する資料(1部)	1		屋根露出防水 防水層の種別				- L4X - X-1H - X-2H	図示 .	
() 環境への配慮	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、		※ 体土に関する具件(1即)			例外層の程列		高日射		- P1Y	※ 図示	
	次の(1)から(6)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、	① 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影 箇所数 部数 写真のサイズ(mm)			工法 種別 施工箇所		料の 反射率 備考 E用量 防水の 備考		• P2Y * Y-2	※ 図示	
	その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、 放散が極めて少ないものとする。		・ カラー写真(製本) 外部() 内部() ※ 1 ・ ※ キャビネ版 ・ サービス	ス版		· C-1		適用		絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量	※ 主材料製造所の仕様による	
	(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ない ものとする。		・パネル(木製枠) 外部() 内部() ※1・ 240×360以上 ※電子データ 外部() 内部() ※2・ ※428万画素以上・800万画:	i素以上		- M4C			(f) シーリング			[3. 7. 2, 3, 8
	(3) 接着剤はフタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を 使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを放散させ		*** **	٤١.		- C-4				ジシーリング充填工法 ・ シー・ ブリッジ工法	-リング再充填工法 ・ 拡幅シーリン	
	ないか、放散が極めて少ないものとする。		CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者			• M3D • D-1	※ 製造所	所の ・		ボンドブレーカー張り ・ 適用・) ・適用しない
	(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて 少ないものとする。	(B) 設備工事との取合				- POD - D-2	仕様に・図示	:よる		エッジング材張り ・ 適用・ シーリング材の種類、施工箇所	ずる(適用箇所: ※ 図示・) ・ 適用しなし
	(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。					PODI DI-1	(材質) · 断熱B			下表以外は、改修標仕表3.7.1による。		の好数/和 D \
	(6) 建築材料等は、クロルビリホスを成分として含有せず、施工においても添加しないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量がf☆☆☆☆のものを、ホルムアルデヒドの	19. 設計GL	※ 図示 ・ 設計GL-現状GL ・ 監督員の指示による			• M3DI • DI-1	・ (厚さ) ・ 25mm			施工箇所	シーリング材の	の性類(配写)
	放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則としてF☆☆☆のものを使用する	② ① 足場その他	足場を設ける場合、「改修標仕」2.2.1(2)によるほか、設置においては、「手すり先行方法による 足場の組立て等に関する基準」における2の(2)「手すり据置方式」、又は(3)「手すり先行専用足場									
	ものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 ■ 規 制 対 象 外		より行うこと。 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ ローリング足場 ・		1	絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置 ※ アスファルトルーフィング類製造				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
	① JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品	仮設	・	5		屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、 ※ 図示		断熱材の張りじまい位置		シーリング材の目地寸法 ※ 図示 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ i		
	③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	事	材料、撤去材等の運搬方法 [3	[表 2.2.1]		屋内防水						
	b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用		種別 A種 B種 C種 D種 E種 E種 C種: 利用可能なエレベーター 図示 現場説明書による		1	防水層の種別 	施工箇所					
	d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用		D種:利用可能な階段 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・		1	• P1E • E-1	nc <u>-</u> <u>-</u> <u>10</u> 171					
1	e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	② 既存部分の養生	養生方法 既存部分 ※ ビニルシート、合板等・	[2. 3. 1]		<u>・ P2E ・ E−2 </u> E−1の工程3の適用 (※ 貯水槽、)	☆槽等の常時水に接する郵付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)				
1	第 三 種① JIS及びJASの F☆☆☆規格品		既存家具・設備等 ※ ビニルシート等(監督職員の承諾)・		1	押え金物の材質及び形状 ※ アル		·	■ 3音 吐ルコルケーホー・	で適用する複数サけいてのロマキナ		
	② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ IBJISのEo規格品		既存プラインド、カーテン等の処置 ・ 養生 (・ ビニルシート等・)						断熱A: JIS A 9521 (建金	で適用する断熱材は以下の略号で表す。 築用断熱材) による押出法ポリスチレンフォ・		
	④ 旧JASのFco規格品		施工中取外し保管、工事後復旧 保管場所 (図示)						断熱C: JIS A 9521による	る硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しく る押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b.	o、2種b又は3種b	ŧΟ
⑧ 特別な材料の工法	改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		固定備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示 ・ 車 挙 任 F在			<u> </u>	+ * *	武石温泉うつくし(るポリエチレンフォーム保温材の密度及び熱	T	2024. 078
	上田市都市建設部建築課		事業年度				事 業 名 	武石温泉うつくし	の湯施設改修 建築主		SCALE	NO. A-01
	— — · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		R-06				図 名	建築改修工事	特記仕様書 1	ı	No Scale	1

7. とい 7. とい 7. とい 7. とい 7. とい 7. とい 8. アルミニウム製笠木	といの材種 ・配管用鋼管及び排水管架手 ・硬質ボリ塩化ビニル管及び同質製手 ・表面処理鋼板		T	5. 浮き部 改修工法	T	2. アルミニウム製建具 (7. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14	耐風圧性、気密性及び水密性の等級 外部に面する建具・ A種 (選具符号: ※ 建具表による
4 外壁改修工事 1. 施工数量調子 共通 2. 材料	 調査範囲 ・外壁改修範囲・図示の範囲 調査内容 ※Uび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、湯水の有無及び鯖汁の流出 の有無を調査する。 ※モルタル壁仕上げ及びタル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等 を調査する。 ※ニンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 ※金り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、既存整膜と新規上壁材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書の部数 2部 司とう性エポキン樹脂 品質・性能及び試験方法 ※ JIS A 6024による バラ状エボキン樹脂・エボキン樹脂・田タル 品質・性能及び試験方法 ※ JIS A 6024による ・	表:	※ 浮き面積がIn*以下の場合及び狭幅部 (幅200mm以下で帯状にはく離している幅の狭い箇所) では 該当する改修標位の項(4.3.11~15]の(1)の指示に従う 料 アンカーピン ※ ステンレス網(SUS304) 呼び径4mmの丸棒で、全ネジ切り加工をしたもの ・ 注入口付アンカーピン ※ ステンレス網(SUS304) 呼び径外径6mm ・ 填工法・モルタル塗替えて法 ※ 3.欠損物収を増えて法 ※ 3.欠損物収を付金 ※ 1.	6. 目地改修工法 4-4 1. 既存塗取等の 除 大処理 1. 世界企及び 下地処理 2. 仕上げ塗材	注入口付アンカーピン	4. 樹脂製建具	性能等級 [5.3.2~5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級
4-1 1. ひび動物を でで を 1. ひび動物を 2. 欠損の 2. 欠損の 2. 欠損の 4-2 1. 既存もの 2. ひびで 2. ひびで 2. なり数 3. 財務 3. はり数 4. とり、 4. なり、 3. はいましまり 4. なり、 4. なり、 4. なり、 4. なり、 <td> 上法の種類</td> <td>工: </td> <td>法 機能注入工法</td> <td>3. マスチック 塗材塗り 4. 外壁用塗膜 防水材 1. 一般事項</td> <td>- 外装厚塗材Si - ・ ・ 外装厚塗材Fi - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td> <td>6. 綱製軽量建具 7. ステンレス製建具</td> <td>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL 頻板類の厚さ ※改修標性表5.4.2による </td>	上法の種類	工: 	法 機能注入工法	3. マスチック 塗材塗り 4. 外壁用塗膜 防水材 1. 一般事項	- 外装厚塗材Si - ・ ・ 外装厚塗材Fi - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6. 綱製軽量建具 7. ステンレス製建具	ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL 頻板類の厚さ ※改修標性表5.4.2による
外型	注入工法 0.3 以上~0.5 未满 1.10~200			建模双参工事		カ湯整備事業	(建具符号: ※ 建具表による・

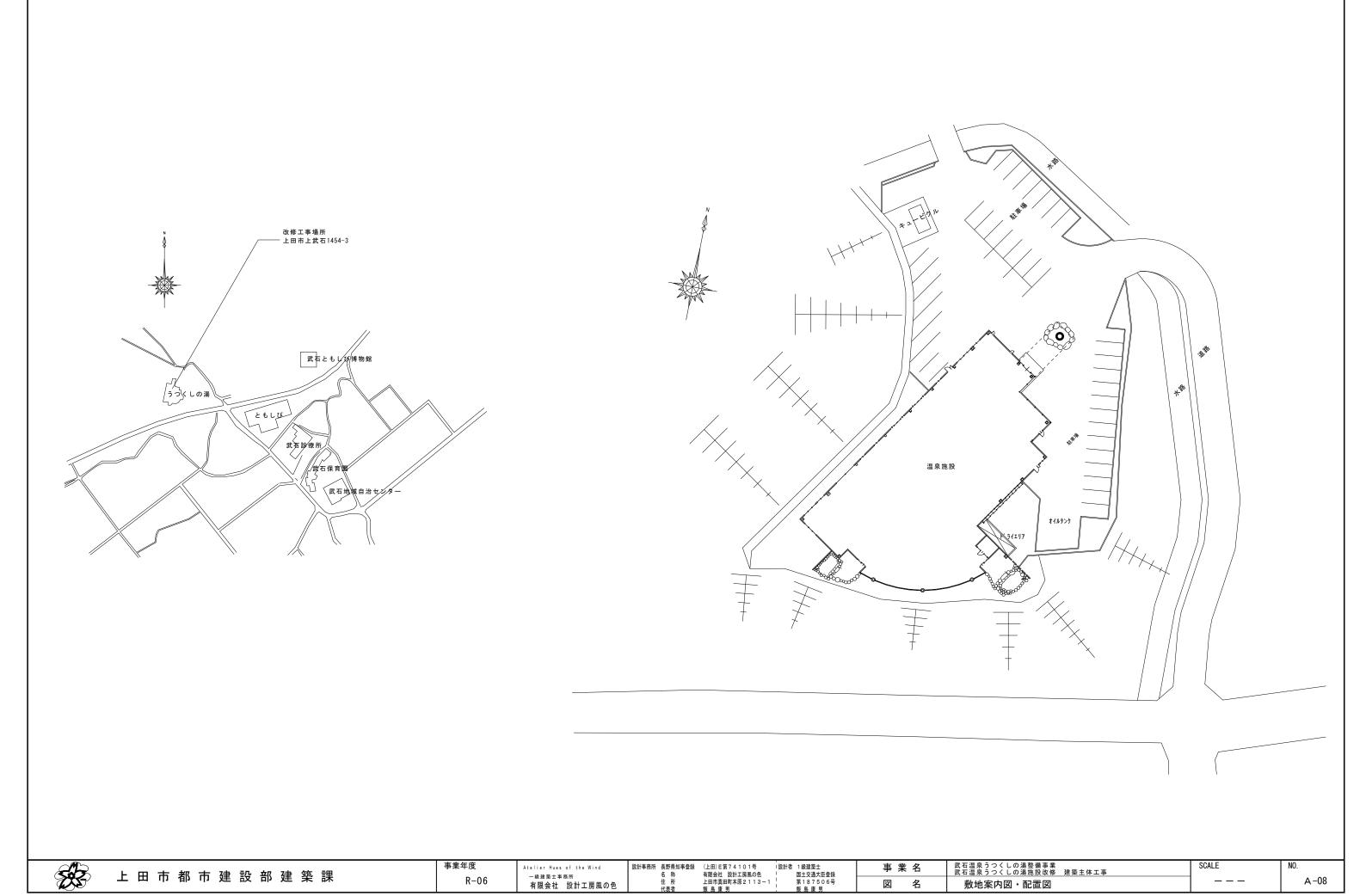
建 8. 木製建具 8. 木製建具 改 修	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 建物内部の木製建具に使用する材料、接着剤、塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F ☆ 女女女又規規制対象外	15. ガラス	[3.7][5.14.2~4] ⑤ 1. 改修範囲等 内 装	既存開仕切壁の搬去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の搬去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	5.1.3] 📵. 合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ [6.5.2] ・下地用合板	
:工事 (続き)	- フラッシュ戸 接着の程度 水掛かり箇所(※1類)その他(※2類) 表面材の合板の種類	・型板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示 ・ 型板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示 ・ 機様 ・ 梨地 ・ かすみ ・ その他 (・ 網入板ガラス、線入板ガラス 種 類 板の表面の状態 網 種		スチャウルが下生の場合にケーションのは「ステャウルをもいか」。 ※ 壁面より両側の0mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示		施上箇所 (mm) 横種名 程度 板面の品質 防虫処理 等の適用 ※5.5 (シ2.0 ・ 2類 針葉樹 ※ 2等以上 1等 ・ 適用する ・ 適用しない	
	合板の種類 現格等 (厚さ(mm)) 備考 (- 網入板ガラス - 網入座き板ガラス - かく網 - 網入板ガラス - 銀入整板ガラス - ひし網 - 線入座き板ガラス - 線入座を板ガラス - 線入を板ガラス	(網 ② 既存床の撤去及び	ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・除去範囲全て) ・ 成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ② 目荒し工法	3. 2. 2]	・構造用合板 施工 厚さ 等級 樹種名 表板の 接着の 板面の 樹種名 板面の 断面 所面 係数比 防虫処理 強度等級 等の適用	
	・天然木 化粧合板 樹種名 () ※ 3.2以上 。 ・大然木 化粧合板 (・オーパーレイ・ブレント・漁生)	合わせガラス 材料板ガラス種類の組合せ ※ 建具表に図示・	③ 既存壁の搬去及び 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修構性4.3.10によるモルタル塗り モルタル - 現場語合材料 既製目地材 ・使用する(形状))	3.3.2]	※ 12 ※ 2級 ※ 1類 ※ 6-D ・適用する ・適用 ※ 特額 (常時温潤 しない ・適用 1級 状態 しない しない	
	* 特殊加工 化粧合板 表面性能 (・F ・FW・W ・SW) タイプ 表裏面の状態による区分 () 曲が独立による区分 ()	材料板ガラスの厚さの組合せ、合わせガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示 材料板ガラス種類及び厚さの組合せ特性による種類 · 耳-1類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 厚さ(ミリ)		仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ・ ・ 図示	 3. 5. 1]	- 天然木化粧合板 原さ 接着の に 接続に 使用する単板の樹種 に 第一次	
	接着剤による区分 ()	・フロート強化ガラス(※ 平面 ・ 曲面) ※ 図示 ・ 整板強化ガラス ※ 4 ・ 熱縁反射強化ガラス ※ 図示 ・	5-1. 表面仕上げ - I類 - II類	・ 改修標性6.5.2による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品 木材の含水率 下地材 ※ A種 ・B種 造作材 ※ A種 ・ B種		- 特殊加工化粧合板 特殊加工化粧合板 株式の繊維な 小柱加工の大法 昨日加頭 間伐材	
	・かまち戸 かまち樹種() 競板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による・・・・ ・ふすま 張り種別(・I型) ・ I型) 上張り ・島の子 ・ 新島の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は霊花紙程度 線仕上 ・ 生地線(素地) ・ 生地線(ウレタンクリヤー塗装)	・ 熱線吸収磨さ板カラス	性能による種類 5-2. 製材 ・ 1種 (5mm日射取得率0.8以下) ・ 2種 (5mm日射取得率0.7以下)	施工箇所 樹種 「法 (mm) 等級 形状 含水率 開けの ※2級・ ※4種・B種・B種・B種・B		### ### ### ### #####################	
	総上スケオ法 ※ 18 5.mm			※ 2級 ・ ※ A種 ・ B種 ・ ・ ※ 2級 ・ ※ A種 ・ B種 ・ ・ ・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材		施 工 箇 所	
⑨ 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の村質 ※ 改修様仕表5.8.1による [5.8.1, 2] 建具に使用する丁番 ※ 改修様仕表5.8.2~4による ・ 木製建具に使用する戸車とレール ※ 改修様仕表5.8.5による・	村林坂ガラスの種類及び厚さの船台七、棟層ガラスの全体厚さ ※ 建具: 断熱性による区分 (・11 ・12 ・13 ・14 ・15 ・16) 日射取得性及び日射造蔵性による区分 (・6 (日射熱取得率0.5以上) ・ 乾燥気体の種類 (・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン)	・ S (日射熱取得率0.49以下))	施工箇所 樹 種		・構造用パネル 博さ(mm) 等級 ・1級・2級・3級・4級	
	握り玉 レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・ 建具表による ・ 錠前類 シリンダーサイド ※ 外側シリンダー、内側サムターン ・ 建具表による ・ 実用性能項目 (JIS A 1541-1及びJIS A 1541-2による)]李0.70以下)	・上小節 ※ A種 ・B種 ・ ・小節 ※ A種 ・B種 ・ ・小節 ※ A種 ・B種 ・	_	・ MOF 施工 箇所 厚さ (mm) 表表面の状態に よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 区分	
	耐じん性能 グレード1 ① グレード2 デッドボルトの出す法 ② グレード3 (17mm) 以上 その他の性能項目はグレード3とする。また膜による施錠が可能なものはマスターキー、グランド マスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが模葉できるものとする。 BE、JAME、メン海族は42 SAMEは142年の BEME MEME 、 スタ際なり 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100	・ 熱線吸収コート板ガラス ※ 図示・・・2種(日射熱取得率) ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 3種(日射熱取得率) ・ 一番強度ガラス ・ 日本度がラス ・ 日本度がラス ・ 日本度が高く		- 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹 種 「沈法 年 級 形 状 含 水 率 等の ※ 1級・ ※ 10%以下・	適用 一	造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭表し [6.5.3、4] 諸金物の形状、寸法 ※ 標仕表6.5.3~5/による ・ 図示	
	品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・ クローザー類 ディレードアクション(遅延閉)機能 ・ 建具表による ・ あり ・ なし 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 キーシステムの種類、構成 ・ 錠製作時に監督員より指示する (5.7.4)		厚さ(ミリ) 備 考	・「製材の日本農林規格」以外の製材		諸金物の材質 ※ 標仕表 2.0.1の「種程度 図示 接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮条性のものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	マスターキー・製作する ・製作しない 鍵の引き速し ※ 錠Iに対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、直接引き渡す ・錠Iに対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、直接引き渡す	・ 熱線吸収プロート板ガラス ・ 熱線吸収磨き倍板ガラス	※ 図示		伐材 りゅう (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	適用部位:() - 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適 用 部 位 保存処理性能区分	
10. 自動ドア開閉機構	自動ドア 性 能 防 錆 検出装置の性能と種類 凍結防止 15.9.2, 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	シールガサ	ガラス溝の大きさ(mm) 5-3. 遊作用集成材	(※ A種 D種) ホルムアルデビド放散量 ※ 規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	5. 5. 2]	・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 <td <="" color="1" rowspan="2" td=""></td>	
	- SSUD-2 表5.9.1による - 元献 (原利) センゲー - 数値とサー - 音波センサー - 音波センサー - 第一	アルミニウム製 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形 ・	所の仕様による。 を 造所の仕様による	施 工 箇 所 棚種 寸法 (mm) 見付け材画の等級 間依本 適 ※ 1等 ・ 2等 ※ 1等 ・ 2等 ・ 2年 ・ ※ 1年 ・ 2年 ・ 2年 ・ 3年 ・ 3年 ・ 3年 ・ 3年 ・ 3年 ・ 3		**ボルン生いでは、今日が同一が増設と、「は、「は、	
	* 改修様仕 表5.9.2による 表5.9.2による を 適用しない を でいます できます できます できます できます できます できます できます でき	鋼製及び鋼製軽量 . ・ タス ※ 製造所・ 図示	・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※ 1等 ・ 2等 ・ ※ 1等 ・ 2等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		※ 図示・ 処理の方法 ※製造所の仕様による・ 図示・接着材への薬剤混入による防腐・防蟻処理	
	スイッチ (・押しボタン・非接触) 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・	16. ガラスブロック	(3.7] [5.14.5] m) 伸縮調整 計止(4.66			適用部位(・ 合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理 適用部位() ・ 防虫処理	
11. 自閉式上吊り 引戸装置 12. 重量シャッター	性能 ※ 改修標仕表 5.10.1 による [5.10.3] 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 [5.11.2, 3]	- 125×125 80 - 160×160 95 - 125 - 125 - 160×160 - 155	側 15以下 ※ 6m以下 ごとに ※ 無し	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水車 間伐本 適 <td col<="" color="2" rowspan="2" td=""><td>5-8. 木材材種</td><td>- 防虫処理 適用部位()</td></td>	<td>5-8. 木材材種</td> <td>- 防虫処理 適用部位()</td>	5-8. 木材材種	- 防虫処理 適用部位()
	シャッターの種類 耐風圧強度() 財風圧強度() N/m² ・ が墾用防火シャッター 耐風圧強度() N/m² ・ 屋内用防火シャッター ・ ・	- 200×200 - 125 - 15~25 - 320×320 95	*** ・ 団 テ ・ 右 し	※ 15%以下・ ※ 15%以下			床組に用いる木材 ※ 杉 ・松 ・ 図示 ・
	屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) 上部手動式 電動式シャッターの急降下制動装置 (急降下停止装置、障害物感知装置の設置場所 ※ 図示 屋内用防火シャッター岩しくは防煙シャッターの危害防止装置 ※図示	曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材		施工箇所 松在海板の 心例の 引法 化在海板の 契刊 合水率 IIII以 含水率 IIII以 資	Ħ <u></u>	その他 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示 線甲板及び上がりがまちに用いる木材 ※ ひのき ・ 図示 ・ [6.5.8] 壁及び天井下地 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示 ・ [6.5.9]	
	管理用シャッターのシャッターケース - 設ける - 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 - JIS G 330(溶融亜鉛めっき鋼板) - JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又は行2 -	寸法 ※ 径5.5mm ・ 図示 形状 ※ はしご形状模筋及び単筋 ・ 図示 化粧目地モルタルの色 () シーリング材 ・ 標仕表9.7.1の被着体の組合せで適合するもの	 5-4. 造作用単板 積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 な T 能 所 厚さ ま西の小笠和丁 防虫和神 間伐木	5. 5. 2] 等 の	野緑等の種類 [6.6.2~4] ※屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) ※屋内 (※ 19 形 ・ 25 形) 屋外の軒天井・ピロティ天井等 屋外での施工 野緑受、つリポルト及びインサートの間隔及び周辺部の端からの距離 ※ 図示・・	
10 49 5 3	ガイドレール、まぐさ、雨掛かりの産板、屋板カバー、スイッチボックス類の蓋 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430.11 又はSUS443.11 品質 性能 ※ 建業材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品	金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 ・ ブルミニウム製 ・ ブルミニウム製 ・ ブルミニウム製 ・ ブルミニウム 製 ・ ブルミニウミニウス ・ ブルミング ・ ブルー・ ・ ・ ブルー・ ・ ブルー・ ・ ・ ・ ブルー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(mm)		野様な、ファハルド&レーンタードの間間のない。 野様の間隔 窓団・ ダクト等の関ロによりつリボルトの間隔が900mを起える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合	
13. 軽量シャッター	開閉形式 ※ 手動式	※ 適用する (1一般共通事項により製造所の指定による) ・適用しな 目地部の力骨の補強方法 ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示		「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工 箇 所		補強方法 ※ 改修標仕6.6.4(8)(7)~(4)による 図示 ・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強	
	- JIS G 3322 (登装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※ AZ90 ・) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 - 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品	17. ガラス用フィルム 名 称 種 類 張り面 ・ガラス飛散防止フィルム GS ※ 内張り ・ 外張り ・日射調整フィルム	性能値 飛散防止率D1 5-5. 直交集成材		5. 5. 2]	補強箇所 図示 補強方法 ※ 図示 ・屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 補強方法 ※ 図示	
14. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 耐風圧区分 開閉方式に 収納形式に よる区分 ガイドレールの材質 よる区分 ボイドレールの材質 ・ スタールタイプ ・ 100 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ファイパーグラスタイプ ・ 万0 ・ 電動式 ・ パーナカル形 ・ ステンレス鋼板	- 品質 JIS A 5759による		施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 樹種名 寸法 間伐		スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4] ※ 改修種仕表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 様性6.7.4(5)(7) ~(5)による ・ 図示	
	障害物感知変圏の設置場所 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品	事業年度			うつくしの湯整備事業	2024.078	
	上田市都市建設部建築課	R-06		此 仁 温 永	うつくしの湯施設改修 建築 多工事 特記仕様書	N. C I A-03	

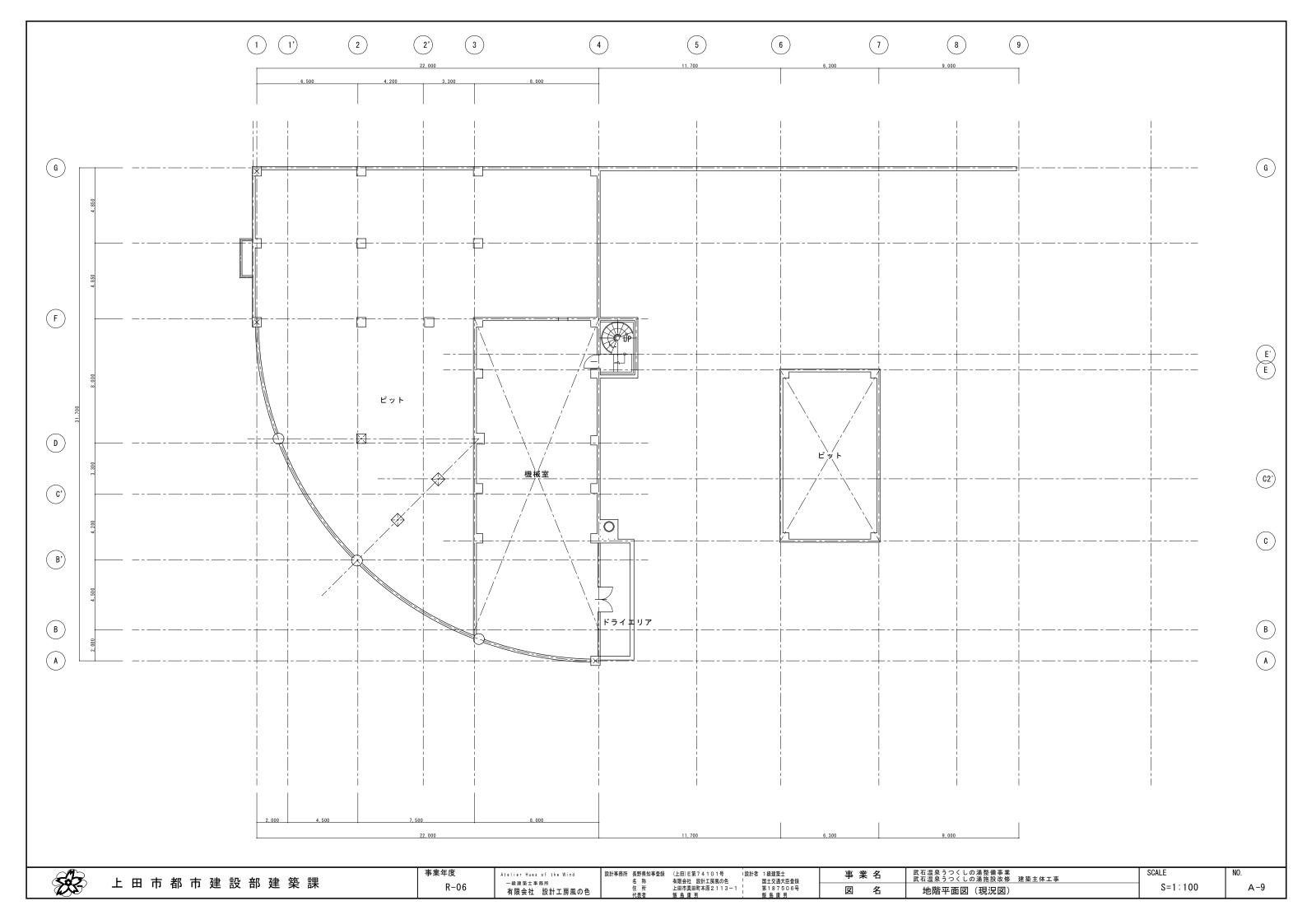
内 (8) ビニル床シート、	ビニル床シート [6.8.2, 3]	11. フローリング張り	単層フローリング	[6.11.2~5] ③ せっこうボード		(① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3	
装 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り	種類	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	種類 エ法 樹種 厚さ 大きさ	せ上塗装 (続き)	表面の材種 生地、透明塗料塗り		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	※ F☆☆☆ 防火材料 ※ 図示 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)	
Ĭ 事	発泡層の ※ FS (複層ビニル体シート) ・ ・ ・ マーブル柄 ・ 図示		(mm)		(※ ラワン程度 ・ 図示 不透明塗料塗り)	改 修 2 下出回数		
続	ないもの · TS (単層ビニル床シート) · 図示 · 無地 · 柄物 · 図示 · マーブル柄 · 図示 · コープル柄 · 図示 · コープル柄 · 図示 · コープル柄 · 図示 · コープル ・ ロープル ・ ロー		・ 釘留め工法 ※ なら ・ 図示 15		① 普通合板 (※ しな程度 ・ 図示 板面の品質 (・ 図示 ・	•)	デー 2. 下地調整 事	下 地 面 等 種 別 ひび割れ部の補値	
5	** と		※ から ・ 12以上 振長さ ・ 涂	装品	厚さ(mm) (① 図示 _・	j		木部 不透明塗料塗りの場合 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 透明塗料塗りの場合 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
	あるもの ・ KS (クッションフロア) ・ 図示 ・ 無地 ・ 柄物 ・ 図示 ・ マーブル柄 ・ 図示 ・		・フローリング ・ 釘留め工法 ・ 図示 ・ 図示 ・ 400以上 ・ 図示 ・ 図示 ・ 図示 ・ 図示 ・ 図示 ・ 無	塗装品	接着の程度 · 1類 ① 2類 · 防虫処理 · 難燃処理			鉄鋼面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 亜鉛めつき鋼面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 有 ・ 無	
	工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け(施工箇所:)		※ なら ・ 8以上 ・	土衣叫	樹種名 (・図示・ 接着の程度 (・1類 ・2)	類)		モルタル面及びプラスター面・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 有 ・ 無	
	・_ ビニル床タイル		・接着工法 ・図示 ・ ・		・天然木化粧台板 「夏さ(mn) (・図示・防虫処理・難燃処理・)		コンクリート面及びALCパネル面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 有 ・ 無 コンクリート面 (PP塗装) 及び押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
	JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 厚さ(mm) ・図示 ・無地 ・300×300 ・2.0 ・2.5			装品	化粧加工の方法	. 1 . 86-94- \		せっこうボード面及びその他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
	・ IT (単層ビニル床タイル) ・			<u> </u>		タイプ		塗替え配種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除却し、活膜部分は残す 図示	
	・FT (複層ビール床タイル) ・		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>接着の程度 (・1類 ・2) 厚さ(mm) ()</td><td>類)</td><td>3. 素地ごしらえ</td><td>[7.1.4][7.3.2~</td></td>	<td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2) 厚さ(mm) ()</td> <td>類)</td> <td>3. 素地ごしらえ</td> <td>[7.1.4][7.3.2~</td>		接着の程度 (・1類 ・2) 厚さ(mm) ()	類)	3. 素地ごしらえ	[7.1.4][7.3.2~
	※ NI (コンボンションピール床ダイル) ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 3.0 ・ 図示		- A 関係 住房 Pc (IIIII) 板幅 板長さ 処理 ※ 15以上		<u> </u>	・防虫処理 ・難燃処理 ・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※ 1.2	•)		下 地 面 等 種 別 - 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種
	・FOA (置数きビニル床タイル) ・図示 ・無地 ・450×450 ・5.0 ・5.5 ・ 柄物 ・500×500		・ ATWAT 注 ※ から ・ A種 ・ 図示 ・ 75 ※ 900以上		・ ポリエステル樹脂化粧板			不部 透明塗料塗りの場合 ・ A種 ※ B種 DP締戦除りの場合 ・ A種 ※ R種 ・ C種	
	- 図示 - 無地 - 450×450 - 2.0 - 2.5		(根太張り) ※ 12以上 ・ 図示 ・ 適用	- 塗装品	せっこうボード等の下地は図示による。			上記以外塗りの場合 · A種 · B種 ※ C種	
	・ F08 (薄型置敷きビニル床タイル) ・ 柄物 ・ 500×500 ・ 3.0 ・ 図示		・ 釘留め工法		天井ボードの重ね張り ※ 図示 ・ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量			亜鉛めっき銅面 ・ A種 ・ B種 モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種	
	・特殊機能床材 種類 施工箇所 性能 寸法 厚さ(mm)		(直張り) ・ ※ 12以上 ※ 303 ※ 1800以上 ※ 0種 ・ 図示 ・ 図示 ・ 適用	. 無徐壮口	※ 規制対象外またはF☆☆ ・ 合板類の張付け ※ B種 ・ A種			コンクリート面及びALCパネル面 - A種 ※ B種 コンクリート面 (DP塗装) 及び押出成形セメント板面 - A種 ・ B種	
	- 帯電防止床シート - 図示 - 電気抵抗値 - 2.0 - 2.5 - 10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω - 3.0 - 図示		・ ・ ・ ・ しない しない とない	・無塗装品	ロ (M 大型) 大型			せっこうボード面及びその他ボード面 目地:継目処理工法 ※ A種 ・ B種 目地:継目処理工法以外 ・ A種 ※ B種	
	- 帯電防止床タイル - 図示 ・電気抵抗値 - 300×300 - 2.0 - 2.5 - 10 ⁴ ~10 ⁶ Ω - 450×450 - 3.0 - 図示		・接着工法 ・図示 ・図示 ・図示 ・図示		目 地 工 法 の 種 類 せっこうボードの エッ・ 総目処理工法 ・ テーパーエッジ ・ ベベルエッジ	ジの種類			
	・ 週常時宝舎田庄タイル ・ 図示		間伐材等の適用 ・ あり ・ なし				③ 錆止め塗料塗り	塗料及び工程 [7.1.4][7.4.2~ 下地面等 工程の種別 塗料の種別	
	- 配列は、JIS I 9251による · 450×450 - 2.0 · 2.5		フローリング、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外又はF★★★★		_・ 目透し工法 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ			新規見え掛り部分 ※ A種 ・ B種 ・ C種 SOPの場合 新規見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種	
	・ 3.0 ・ 図示		接着工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート・	14. 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	[6.14.2~3]		塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種	
	- PD 常性床ンート		現場塗装仕上げ ・ 行う(施工箇所 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (B種) ・ オイルステイン塗りの上、ワ	アックス塗り	整紙の種類 塩化 ブラス 毎機管 その納 防火種別	別備考		新規 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ※ 1回目C種、2、3回目D種 鉄鋼面 かみ場合 塗替え ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ E種	
	- 防滑性体ダイル - 450×450 - 3.0 ・図示		生地のままワックス塗り行わない		紙 繊維 ビニル	*****		新規見え掛り部分 ※ A種 B種	
	工法 特殊な床下地の工法 ・ 図示 ・ ビニル幅木	(2) 畳敷き		[6. 12. 2]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			EP-Gの場合 新規見え隠れ部分・A種 ※ B種 塗替え ・A種 ・B種 ※ C種	
	材質 ・軟質 ① 硬質 高さ(mm) ※ 60 ・ 75		① D種 (量床: ・ KT-I ・ KT-II ・ K		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	準不燃		新規綱製建具 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 SOPの場合 新規綱製建具以外・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ A種 ※ B種	
	厚さ(mm) ※ 1.5以上 ·		適用する(床表 · C1 · C2) · 適用しない		モルタル・ブラスター面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種			塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 ※ A種 ・ B種	
	ゴム床タイル		下地の種類 ・ 標仕 表12.6.1による床組		コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種			亜鉛めっき銅面 DPの場合 ※ 改修標仕表7.4.6による ※ B種 新規鋼製建具 ※ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種	
	厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ・ 図示 ・			極めて少ない				EP-Gの場合 新規鋼製建具以外 - A種 ※ B種 - C種 ※ C種 ※ C種 ※ A種 - B種 ※ C種 ※ A種 - B種 ※ B種 ※ A種 - B種 ※ B	
(9) カーペット敷き	・織じゅうたん [6.9.3~4]		材料を使用したものとする。	15. モルタル塗り	モルタル材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所() 形状(※ 図示・	[6. 15. 3, 6]			
	種別 パイル形状 織り方 色柄等 帯 電 性 備 考	③ せっこうボード その他のボード張り	JIS TO LE	[6.13.2~3]	・ 設けない 床目地 ・ 設ける				
	・ A程 パイル カーペット ※ 無物 ・ 適用する	CON NOTICE	種類 記号 厚さ(㎜)・規格寺		工法 ※ 押し目地・		(4) 塗装	[7. 1. 4] [7. 5. 1~7. 15.:	
	・ B種 パイル カーペット (番番貝) (人体帯電圧 3kv以下)		・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・図示・ ・中質木毛セメント板 MW ・15 ・20 ・25 ・図示・		設置間隔 ※ 目地割り2㎡程度、最大目地間隔3m程度・ 設けない	・凶ホ			
	・ C種 ・ カット、 ・ アキスミンスター		・普通木毛セメント板 NW ・15 ・20 ・25 ・図示・ ・硬質木片セメント板 HF ・12 ・15 ・18 ・21 ・図:	<u></u>	外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない			塗育ス 新 規 大部展外 ※ R鍾・ ※ A鍾・	
	グリッパー工法の下葺き材		・普通木片セメント板 NF ・30 ・図示・ 〇 はいかたまります。 0.8FK タイプ 2 (無石綿)		※ 防水剤 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製	행유·		合成樹脂調合ペイント塗り	
	※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ 接合方法		○けい酸カルシウム板 1.0FK ・6 ・8 ○ 図示・ _ ・ トラレキシブル板 F ・4 ・5 ・6 ・8 ・図示・	 (1) タイル張り) [6. 16. 2~4]		塗料の種別 ※ A種 ※ 1種 2種 亜鉛めっき銅面(銅製建具) ※ B種 ※ B種	
	※ ヒートボンド工法 · 手縫いでつづり縫い ・ タフテッドカーペット		スレート ボード ・ 軟質フレキシブル板 NF ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 図示 ・		床タイル以外 (・ 図示 ・)	/ [0.10.2 4]		・クリヤラッカー塗り(CL) 着色剤(・溶剤系 ・油性) ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種	
	パイル形状 パイル長さ(mm) エ 法 帯 電 性 備考		タイプ 2(無石綿)		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない			鉄鋼面 上塗り等級()級	
	・カットパイル ・5~7・ ・ループパイル ・4~6・ 接着工法 (人体帯電圧 3kv以下)		・ 化粧けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK 仕上げの種類		見本焼き ・ 行う ・ 行わない 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品	ā ·		亜鉛めっき銅面 ※ 改修標仕表7.8.1による ・耐候性塗料塗り(DP) 上塗り等級()級	
	・ カット、ループ併用 ・		UV塗装 ・シート張り ・化: ・一般塗装 ・	粧単板 日本	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張りタイルの形状、寸法等			コンクリート面及び A-1種 · B-1種 · C-1種 押出成形セメント板面 · A-2種 · B-2種 · C-2種	
	下敷き材(グリッパー工法の場合)		・火山性ガラス質複合板 VSボード 図示 密度による区分 (・ 化粧加工による区分 (・		施 主な用途 形状/ 吸水率に うわ 役物 色 再生材/	耐凍 一番り		・つや有合成樹脂 コンクリート面等 ※ B種・ ※ B種・ ※ A種 屋内の木部 ※ B種・ ※ A種	
	※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ○ タイルカーベット		- 2.5 · 3.5 · 5 · 7 · 図示 · 素地ハードポード HB · 未研磨板 (· スタンダード · テ	.	Tan Ta	有無抵抗性 備考		エマルションペイント 塗り (EP-G) 屋内の鉄鋼面 ※ B種・ ※ B種・ ※ B種・ ※ A種・ B種	
	パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備 考		・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テ	ンパード)RS				・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)※ B種 ・ ※ B種 ・ A種	
	※ ループパイル ※ 第一種 ・ 図示 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ 第二種 ・ 図示		・内装用化粧ハードボード IB ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・図・内装用 DI ・外装用 DE	亦 ・		 		・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 着色剤(・溶剤系 ・油性) ※ B種 ・A種 ・ピグメントステイン塗り ※ 改修標仕表7.12.1による	
	・カットパイル ・第一種 ・図示 ※ 500×500 ※ 6.5 ・第二種 ・ ・ ・ 図示		・ミディアムデンシティ MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ・図: ファイパーボード	т ·		(注:為)		・オイルステイン塗り(0S) ※ 図示による ・木材保護塗料塗り(MP) ※ B種 ・ A種	
	・カット・ループ併用 ・第一種 ・図示 ※ 500×500 ※ 6.5 ・第二種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 図示 ・		・インシュレーションボード A級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・ ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図		壁タイル張りの工法			EP-G(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面) 塗替えの	
	カーペットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き 模様流し		・単板張りパーティクルボード ・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・図		内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張	Ęθ		場合のしみ止め ※ 改修標仕表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする	
	階段部分 ※ 模様流し 市松敷き 見切り、押え金物 適用する(材質、形状等 ※ 図示)		・ 単板オーバーレイ DV		 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント 	ト、細骨材、混和剤等を		FP塗替えの場合のしみ止め ※ 改修標仕表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする ・	
	・ 適用しない		・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・ 図示		予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の			・ 高日射反射塗料塗り 下地調整 (改修標仕表7.2.2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
① 合成樹脂塗床	塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆ ・ [6.10.2~3]		・ 凹凸タイプ ・ ロックウール化粧吸音板 DR (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・	図示 ·)	・ 既調合目地材 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の			T 辞	
	種別 施工箇所 エ 法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 図示 ※ 平滑仕上げ		- フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示・)		= sec. HM		土住 エクロス 規格番号 規格番号 接機 (kg/m) ・1回・2回 屋根用 1種 1級	
	・ 厚族企金床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ		・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・25 ・図示・ ・グラスウール吸音ボード号32K GW-B ・25 (ガラスクロス包) ・図示・		タイルの形状、寸法等 *** 主な用途 *** すなり ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			上塗り ・製造所	
	・ 厚膜型塗床材 ・ 図示 ・ 薄膜流し展べ工法 ・ 平滑仕上げ ・ 平滑仕上げ		① せっこうボードGB-R9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15・ 図示	(不燃)	L による 形状/ よる区分 ぐすり 使物 巴 再生材(の <u>害性</u> 滑り 横考 抵抗性			
	・樹脂モルタル工法・防滞性上げ		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>簡 区分 「Mm」 耳 耳 耳 面 施 無 有 無 標 特 適用 頭 類 類 類 ゆう ゆう 有 無 標 注 注</td><td>有無</td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td>簡 区分 「Mm」 耳 耳 耳 面 施 無 有 無 標 特 適用 頭 類 類 類 ゆう ゆう 有 無 標 注 注</td> <td>有無</td> <td></td> <td></td>		簡 区分 「Mm」 耳 耳 耳 面 施 無 有 無 標 特 適用 頭 類 類 類 ゆう ゆう 有 無 標 注 注	有無		
	エポキシ樹脂系塗床 ※ 平滑仕上げ		・ シージングせっこうボード GB-S ・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃) ・						
	工程		・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・12 (不燃) ・21 (不燃) ・図示						
	※ 0.25kg/m2以上 ・ アクリル樹脂塗床 ・ 図示		・せっこうラスボード GB-L 9.5 ・化粧せっこうボード GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度		内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆				
	- ・アグリル傾縮壁床 ・ 図示 (JIS K 5970) - ※ 平滑 ・ 防滑 ************************************		(木目) 模様 (・柾目 ・板目)専用下地材	17 - Hull 71 - Will 2 - H		[6. 17. 2]			
	(防塵塗料塗り) 2777 ※ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色		(トラバーチン模様) GB-D ○ 9.5 (準不燃) · 12.5 (不燃) · 図:		※ 図示 · mm				
			事業年度			武石温泉うつくし	の湯整備事業	SCALE NO.	
\$\$2	上田市都市建設部建築課		R-06		事業名	武石温泉うつくし	の湯施設改修 建築	直体工事	
WY			1, 00		図名	建梁改修工事	特記仕様書	4 NO SCATE	

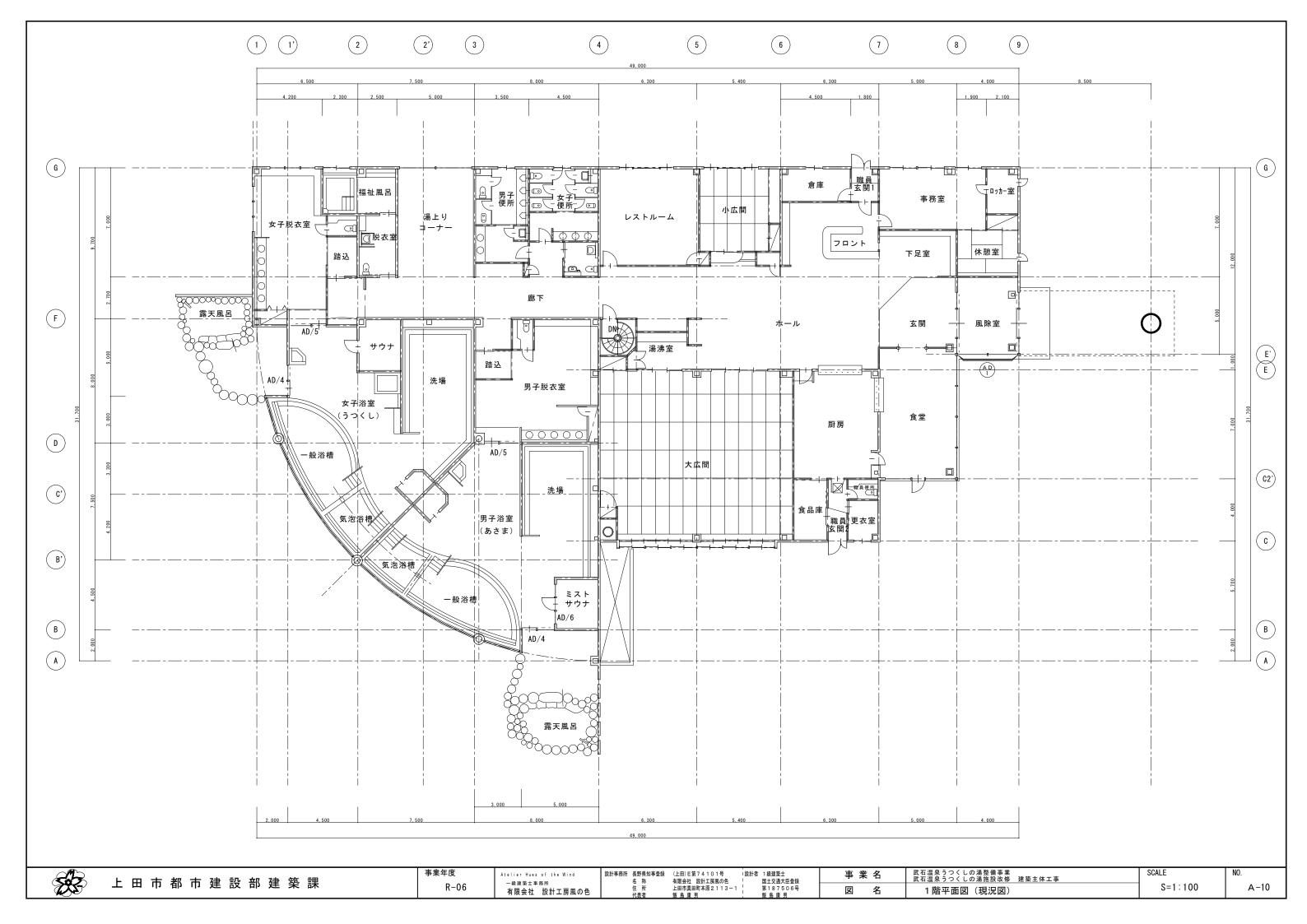
March 1995	9 環境	① 石綿含有建材の 除却工事	石綿粉じん濃度測定 ※ 10章 解体工事「10-6石綿合有建材の除去等」による 除去工法による処理 ※ 10章 解体工事「10-6石綿合有建材の除去等」による 建材除法後の仕上げ工事 ※ 図示	10 解 解	多 事前措置	機械設備及び電気設備の切替・遮断等 請負者が同工事の許可業者でない場合は、監督職員と協議の上、同工事の許可を取得している業者に 委託する。	10-5 特 si	1. 施工調査		取する部位 採取する数量	〈5. 1. 2〉 備 考		3. 石綿含有 吹付け材の除去	除去範囲 ※ 図示 ・ [9.1.3] 〈6.3 除去工法 ※ 解体共任6.3.2による他、部位・内容に応じた工法は専門工事業者の仕様とする。 飛散防止 ※ 密封処理
### 15 PART 1997 19	完成成修工事	2. 外断熱改修工事	断熱材 [9.2.2~4] JIS 種類 厚さ(mm) 施工箇所	事		油類タンク 解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き 取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。	/管理産業廃棄		· 図 · (示) 箇所 示				隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、 粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ※ 湿潤化 ・ セメント固化
The content of the	#		A ・押出法ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキンなし) ・保温板 (2種b) ・25・ ・保温板 (3種b) ・25・ ・ 保温板 (3種b) ・砂質ウレタンフォーム断熱材 ・ 建地部分・				米物等の処理等	C	・ 図 ・ (PCB 含有シーリング分析調査	示	(5. 4. 4)	-		除去範囲 ※ 図示
Total Control Part			外装材				ਚ 		現場にてサンプルを採取し、シ ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分	オ析を行う。				石錦含有けい酸カルシウム板第2種を含む 除去範囲 ※ 図示 ・
### CONTROL OF THE CO			既存外壁仕上げ材の撤去 あり なし			解体に先立ち、汚水及び汚物は、回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への			特別管理一般廃棄物及び特別管					石綿含有せっこうボードを除くアスペスト含有成形板 ・ 埋立鬼分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(発離施股) 除去の部位、内容に応じた工法は専門工事業者の仕様とする。 ・ 石綿含有けい酸カルシウム板第1種の除去(切断・粉砕する場合)
Part			工法 不陸等の下地調整 図示 断熱材の施工 ※ 断熱材製造所の仕様による		2. 杭の解体	・ 行う ・ 行わない (3.9.2) 核の解体工法	-				4月25日付基発第401号)			隔離養生(負圧必要)方法 ※ ビニールシート等による養生を行う 足場 の示 処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設)
March Color Colo			通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する (1一般共適事項により製造所の指定による)		4. 地下埋設物・ 埋設配管	○ 行う(場所: ○ 図示 ・) ・ 行わない 地下埋設物及び埋設配管の解体 (3.11.1) ・ 行う(場所: ・ 図示 ・) ・ 行わない	-		理 特別管理産業 廃棄物の種類 ・ 廃石綿	仕様 数量				着工前の試験施工 ※行う ・ 行わない 除去工法 ※ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置付き用手工具ケレン工法
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3. 断熱・防露改修工事	使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材		1	外灯の撤去 ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない 解体能の理更し及び塗土 (3.12.1) ・ 行う 登地高さ	-		・廃酸 ・廃アルカリ ・ダイオキシン類汚染物	体的 ・ 相信的印象()-ス				- 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・剥離剤併用超音次アレン工法 ・剥離剤併用手工具ヤレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa)
10 10 10 10 10 10 10 10			・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 保温板(2種b) ・ 25・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			埋戻し及び <u>盛</u> 土の材料 ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30m程度毎に締め園めること。			種類、位置 種類、位置 類 ・現場説明書による ・図示		(5. 4. 1)			・ 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付掃除機併用) 処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)
### 1			・フェノールフォーム断熱材 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種I ・ A種IH ・	10年設廃棄	1 一般事項	総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を 行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了	_		が材・標準施工要領書(日本シーリンク・ ・ 撤去範囲	ブエ事業協同組合連合会/日本シーリング材コ		10-7 特殊な建設	1. 施工調査	管理産業廃棄物等の種類 又は箇所等 ・図示 ・図示
1 年後の日本			施工箇所 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 断熱材後張り工法	物の処理	② 再資源化等		10分石級		シーリング材は適切な容器に納め、 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸	与する設計図書等によりアスベストを含有し	(1.4.1)	設副産物の処理	2. 回収及び処分	・ 図示 ・ () 箇所 「回収及び処分を行う特殊な 今去線架名数 回原▽仕机公業を名
1. (1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		4. 屋上緑化改修工事	種類基盤及び材料 屋上線化軽量システム 適用する 適用しない 芝及び地糖類の樹種並びに種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示			コンクリート二次製品) ※ 木材	含有建材の除去		調査範囲 貸与資料 (分析による石綿含有建材の調査 分析対象	・ 図示)	フィライト、トレモライト			建設副産物の種類 ・ フロン ※ 監督員の承諾する業者・ ・ ハロン ※ 監督員の承諾する業者・ ・ イオン化感知器 ※ 監督員の承諾する業者・ ・ 六フッ化硫黄(Src)がス ※ 監督員の承諾する業者・
### 1			工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する (1一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない			・蛍光ランプ、HIDランプ ※ 監督員の承諾する施設 現場説明書による ・硬質塩化ビニル管、継手 ※ 監督員の承諾する施設 ・現場説明書による ・ガラス ※ 監督員の承諾する施設 ・現場説明書による	等 		- JIS A 1481-2 (建材製品中 含有の有無を判定するため - JIS A 1481-3 (建材製品中	の定性分析方法)				※ 監督員の承諾する業者 ※ 監督員の承諾する業者
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	ļ <u>.</u> .		既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植芝及び地被類の枯結構 期間 ※ 引渡しの日から1年			(4. 4. 1)	-		材料名	・ 箇所数(・ 箇所数(・ 箇所数()	・ 箇所数() その他	0 1		・ 仮囲い周辺の美化 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成
1			路床 層の適用、材料、層厚 種 別 材 料 厚さ (mn) ・ 図示			石 朴			採取箇所 · 図示 測定時期・場所及び測定点	。 	T			現場見学会の開催 住民に対する災害防止関係 現場出入口周辺への誘導員の配備
### (4.1)			・ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 図示 ・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂) ・ ※ 100 ・砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂) ※ 100			種 類 所 在 地 現場説明書による			測定 1測定 2処理作業前	処理作業室内 各 点 施工区画周辺又は 敷地境界 計 点	-		産業廃棄物等の	報告する。 (施設管理者からの関き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。) (1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為) ときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)に基づき、適正
### 25 18 18 18 18 18 18 18 1			路床安定処理 - 添加材料による安定処理 - 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種			名 称 最終処分場の種類 数 量 備 考 ○ 石総含有せっこうボード ※ 管理型 ※				ゾーン入口 各点 集じん・排気 各点				(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取けいる者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理素の1証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員はすること。
● の表現を担保			・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量()) kg(目標CBR ・5以上・) 試験の適用 砂の粒度試験・・行う・行わない			(4.5.1) 名称 住様 数量 備考	-		・ 測定 7 - 測定 7 - 処理作業後	敷地境界 計 点 処理作業室内 各 点 施工区画周辺又は も よ		4	環境対策関係	の写しを添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。 (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、挟出ガス対策型建設機械とすること。 (2) 夜間、早等等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、 ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。
####################################			砂置換法による土の密度試験・ 行う ・ 行わない現場(DR試験 ・ 行う ・ 行わない)路盤 路盤の厚さ ・ 図示 ・			・CCA処理末材 最終処分施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による 「特定廃石膏ボード」とは、以下の石膏ボード製品が廃棄物となったもの。			測定 10 撤去後1週間以降 測点位置 ※ 図示	調査対象室外部の付近 計 点	-	5 7	安全対策関係	(4) 熱帯材合振型枠は、極力使用しないこと。(1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。(2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回程度実施し、工事日誌へ記録する
議論の場合			※ 再生材クラッシャラン ・ 粒度調整再生材 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 図示 ・ 様仕表9.7.4による ・ 図示			商品名 : タイガーボード 工場名 : 小名浜吉野石膏㈱いわき工場 裏面表示マークは「吉野石膏OY」 製造期間 : 昭和48年3月~平成9年4月			走査電子顕微鏡法」による位相差 測定機関は、都道府県労働局に登	・分散顕微鏡法による。 録されている作業環境測定機関とする。				(3) 原則として代理人 (主任) 以外の第三者により、月1回以上店社による安全パトロールを行い、エ 日誌へ記載するほか、点検内容等を別書面に記録し、実施状況の写真を撮影すること。 (4) 下請業者にKY(危険予知)、TBM(作業内容の打合せ)活動等を実施させ、その記録を整備すると
### 25024 (元			突固めによる土の締固的試験 ※ 行う 路盤の厚さ ※ 500㎡毎1箇所 砂置換法による土の密度試験 ※ 行う (1000㎡以下3か所、1000㎡を超える場合1000㎡ごと1か所追加する)			② カドミウム混入石膏ボード 商品名 : アドラせっこうボード 工場名 : 日東石膏ボード㈱八戸工場 裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」			メンプレンフィルタの直径 試料の吸引流量 試料の吸引時間	25 mm 47 mm 5 L/min 10 L/min 30 min 120 min	10 L/min 240 min		 工事検査	(6) 上記の(2)~(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え、監督員及
新版			※ 構外搬出適切処理 - 構内の造成に利用 - 構内の指定場所にたい積 ・構内の指定範囲に敷きならし 舗装 舗装の構成 - 図示			JIS許可番号:265023、265024			計数条件	総アスベスト繊維数200本 又は視野数50視 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径	野 比3:1以上	① 被 ⑧ 施 ⑨ 完	害届等 工図等の取扱い 成図等	ことがあるので、検査に協力すること。 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。 施工図等の著作権に関わる当該援物に限る使用権は、発注者に移譲する。 完成図など維持管理に関する書類は、しゅん工能30日以内に提出し、必要に応じて取扱説明を行うこ
・ 日 市 都 市 建 設 部 建 築 課 日 日 市 都 市 建 設 部 建 築 課 日 日 市 都 市 建 設 部 建 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			切取り試験 ※ 行う (2000㎡以下3個、2000㎡を超える場合は2000㎡ごとに1か所追加する) 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない									# ##	nc. and 100	上記による他、監督異の指示による。
	,	S	上田市都市建設部建築課	•				•		事業名図名	武石温泉うつくしの	湯施設	改修 建築主	SCALE NO. A -C

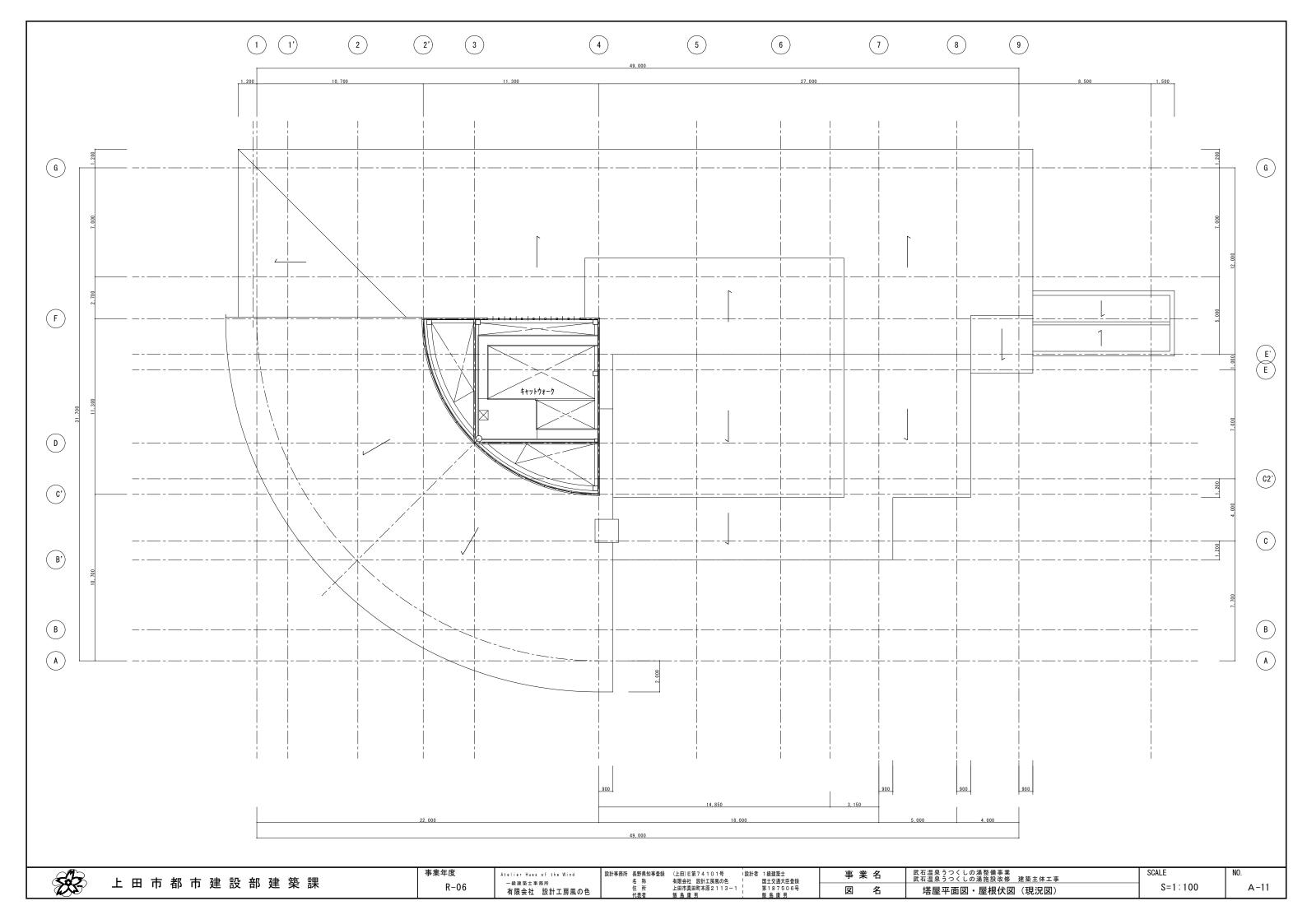
		T								
世 万担息さつ	くしの湯整備事業	4. 場所打ち コンクリート杭地業	材料その他 (4.5.4~6) 鉄筋の材料、帯筋の加工及び組立、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手長さ	⑥ ① コンクリートの 使用骨材による	※ 普通コンクリート		(6. 2. 1~6. 2. 4	(6. 14. 1)	1. 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3) ※ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨
武石温泉うつ	くしの湯	12777 T 1005K	※ 構造図 () による	型 種類及び強度	設計基準強度 気乾単位容積質量 7 Fc (N/mm2) (t/m³)	スランプ (cm)	適用箇所	£	ŧ	評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に
I 建物構造概要等			セメントの材料、コンクリートの設計基準強度、種別、スランプ、構造体補正強度 ※ 構造図 () による) 		① 15 *	基礎、基礎梁、土間スラブ	f		定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・監督職員の承諾する製作業者
1. 建物概要 構造種別 地	止 —— 造 地下 —— 造		施工方法 ・ アースドリルエ法 ・ リパースエ法 ・ オールケーシング法	<u> </u>	※ 24 2.3程度		柱、梁、スラブ、壁		② 施工管理技術者	※ 適用する ・ 適用しない (7.1.3) (7.1.4)
^{犯權形式}	———— 構造		・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 拡底杭法	事		· 15				
			支持層の位置及び土質 ※ 構造図 () による		/ 18 2.3程度	- 18			③ 製作精度	※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による (7.3.3) ※ 上記におる他、平12建告示第1454号、突合せ接手の食い違いの仕口のずれの検査・補強マニュアルによる
	I 類(I=1.50) · Ⅱ類(I=1.25) · Ⅲ類(I=1.00)		杭の精度 ※ 構造図による 超音波測定器による孔壁測定 ※ 構造図 () による	② レディーミクスト	種別		(6. 2.	(表6.2.1)	(4) 建方精度	: (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」、付表5「工事現場」による (7.10.2)
2. 構造計算条件 a. 耐震設計条件				コンクリート	※ I類 ・ I類					
建	物一次固有周期 () 秒	⑤ 砂利地業	砂利 ※ 再生クラッシャラン ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.2, 3) 砂 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂 ・ 砕砂	③ セメントの種類				(表6.3.1)	⑤ 鋼材	鋼材の種類、形状、寸法 ※ 構造図 () による · (7.2.1)(表7.2.1)
	盤種別 第()種地盤 Z =		砂利地業の厚さ及び適用範囲		セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント	下	適用箇所 記以外全で		6. 高力ボルト	高力ポルトの種類、ねじ呼び寸法 ※ 構造図 () による (7.2.2) すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う
	※ 許容応力度計算 ※ 許容応力度計算 (ルート) (ル		厚 さ 適 用 箇 所		・ 高炉セメント (・ A種 ・ B種)・ シリカセメント (・ A種 ・ B種)	,				溶融亜鉛メッキ高力ポルトの摩擦面の処理 (7.12.5)
計算ルート X7	^{大向} ・その他 ・その他		- 図示 ・ 図示 ・		・ フライアッシュセメント (・ A種					※ ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理
設計層間変形角 X7	一次設計 一次表計 一次表計				・普通エコセメント	IC D F0101-=+	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	+ n h		ボルト及びナットの材料等 ※ 標仕表7.2.3による ・ (7.2.3)
b. 耐風設計条件			厚 さ 適 用 箇 所		する。ただし、無筋コンクリートに用いる		された規定の他、次の規定の全てに適合する	tw2	/. 盲週小ルト	ホルト及びナットの利益等 ※ 標位数7.2.3による (7.2.3) ねじの呼び寸法 ※ 構造図による
	30)n/秒 I · I ⊙ II · IV		<u>・60 ・図示</u>		水和熟 7日	352 J/g J			8. アンカーボルト	構造用アンカーボルトの種類 ※ 構造図 () による ・ (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)
	1. 3倍 ・ 1. 15倍 ・ 1. 0倍	@ #ar=> # !! !	(4.6.0.6.44.0)			402 J/g J	以下 			構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法 ※ 構造図 () による・
c. 耐積雪設計条件 建設地の標高 () m	⑥ 捨てコンクリート 地業		④ 骨材の種類	使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A	分	(6.3	1) (6. 11. 2)		建方用アンカーボルトの種類 ※ 構造図 () による アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※ 標仕表7.2.3による
多雪区域の指定・	有り ・無し		厚さ 適用箇所 ○50 ・基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下		・ B (コンクリート中のアルカリ総量 R	Rt=3.0kg/m³以	下)			保持及び埋込み工法 ※ 標仕 表7.10.1(・ A種 ・ B種) による
設計垂直積雪量) CM		<u>・</u> 図示 ・図示 ・	(5) 混和材料	 混和剤 (JIS A 6204に適合するAE剤、A 	 AE滅水剤又は		(6. 3. 1)	9. 縁端距離、ボルト	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緑端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等 (7.3.2)
Ⅱ 建築工事仕様 1. 共通仕様							イオン量による区分はΙ種とする。) 重又はⅡ種、JIS A 6206に適合する高炉ス:	ri .	間隔、ゲージ等	※ 構造図による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(1) 図面及び特記仕様に記載され 編)」(最新版)(以下「標付	れていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事 士」という。)による。	7. 床下防湿層	施工範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.5) ・ 図示 ・		* 浜柏科 (JIS A 6201に週音 9 るフライ) 微粉末又はJIS A 6202に適合す		ェハルエ注、VIV A VEVVIC 超ロサの同別人)		⑩ ボルト孔	ボルトの孔径 ※ 標仕7.3.8(3)及び標仕表7.3.2による · (7.3.8)
(2) 標仕で、「特記がなければ、	」以下に具体的な材料・ 工法・ 検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等		防湿工法 ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 図示	⑥ 構造体強度補正	※ 標仕表6.3.2による		(6. 3.	(表6.3.2)	11. 柱底均しモルタル	モルタルの種別 ・無収縮モルタル ・認定工法の仕様による (7.2.9)(7.10.3) 無収給エルタルの社関下が増み ・機は7.2.0による ・ 数やてはの仕様による
2. 特記仕様	には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。				暑中コンクリート (日平均気温の平年値だ 構造体強度補正値 ※ 6N/mm2					無収縮モルタルの材料及び調合 - 標仕7.2.9による - 認定工法の仕様による 品質及び試験方法 - 標仕表7.2.6による - 認定工法の仕様による
(1) 項目は、番号に ○ 印の付い(2) 特記事項は、 ○ 印の付いた		8. 地盤改良 (セメント系固化	工法 ・ 浅層混合処理工法 改良範囲、仕様(計測、試験等含む)は構造図による							厚さ ※ 構造図による 工法 ・ A種 ・ B種 ・ 認定工法の仕様による
印の付かない場合は、※	印の付いたものを適用する。	材を用いた工法に	- 深層混合処理工法 改良範囲、仕様(計測、試験等含む)は構造図による - 六価クロ人溶出試験 ※ 行う ・ 行わない	7. 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート		(6.14	I~6. 14. 3)	19 6 3 5 6 6	
	の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	よる改良)			設計其準改度 フランプ	セメントの)種類 適用箇所		12. ターンバックルの 種類、ねじの呼び等	建築用ターンバックル胴 ・割枠式 ・構造図 ()による
	「株式会社」等の記載は省略する。 とあるのは標仕巻末に掲載されている「各部配筋 参考図」を指す。	9. 置換コンクリート 地業	形状等 ※ 構造図による ・		※ 18 ※ 15▽I+18 ※ 普通が	ポルトランドセ				ねじの呼び ・ 構造図 () による
		(ラップル	地盤位置 ※ 構造図 () による・・		Table 又はi	t混合セメントの iセメントB種	DA種 標仕6.14.1(4)に定る	る箇所	13. デッキプレート	材質、形状及び寸法 ※ 構造図 () による (7.2.7)
章 項 目	特 記 事 項	コンクリート地業)	型枠 使用の有無 ・無し ・有り 使用箇所等 ※ 構造図()による ・		·	イアッシュセメ	メントB種			鉄骨部材への溶接方法 ※ 構造図 () による 耐火認定 ※ 構造図 () による
	壁の位置及び種類 (4.3.4、5) (4.4.4) (4.5.4~6) 基礎(基礎杭の先端の位置含む) ・構造図 () による ・			8. 打継ぎの位置、	打継ぎ位置 ※ 標仕6.6.4(1)による			1) (9. 7. 3)	14. スタッドボルト	種類等 ※ 構造図 () による (7.2.8)
業・直接	妾基礎(基礎底部の位置含む) ・構造図 () による ・	⑤ 飲筋の種類		ひび割れ誘発目地、 打継ぎ目地	目地寸法 ※幅20cm以上、深さ10cm以 ひび割れ誘発目地の位置 ※図示(
事 試験場	段計地耐力 ()kN/m 堀り(根切り底の状態の確認等)	筋工	鉄筋 OSD295 ※ D16以下 ※ 図示 () コンクリート用 ・ SD345 ※ D19以上 ※ 図示 ()		※ ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸	寸法は、躯体外化	側の打ち増し厚さ部で処理する		15. 材料試験等	
	行わない 行う 位置等 構造図 () による	事	棒鋼(異形鉄筋)	⑤ コンクリートの	合板せき板を用いるコンクリートの打放		(6. 2. 5) (6. 6. 6) (6. 8. 3)	£6. 2. 4、5)	16. 溶接接合	開先の形状 ※ 鉄骨構造標準図による・ (7.6.7) エンドタブを切断する箇所、切断範囲 ※ 鉄骨構造標準図による
試験	れ 位置、本数、寸法 ※ 構造図 ()による ・		高強度せん断補強筋 大臣認定番号 ()	仕上り	• A種		適用箇所			切断面の仕上げ ※裸仕7.6.7(1)(加)(b)(2)による . スカラップの形状 ※ 鉄骨構造標準図による
杭の朝		2. 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 適用箇所		○ B種・ C種					
	後の実施 ・ 行う ○ 行わない 後内容 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験		・溶接金網		コンクリートの仕上がりの平たんさ				17. 入熱、パス間温度の 溶接条件	
	僚林の位置、本数、載荷荷重、試験方法等 ※ 構造図()による D載荷試験(平板載荷試験)		- 鉄筋格子		種 別 ・ a種		適用箇所		18. 溶接部の試験	
試験	食の実施 ・ 行う ○ 行わない	3. 圧接完了後の試験	外観試験 ※ 行う(全数) ・ 抜取試験		• b種				10. /台技印以到被	※ 工場溶接の場合
	後位置、載荷荷重、試験方法等 ※ 構造図() による ・ D 報告書記載事項及び提出物 ※ 標仕4.2.5に定める事項 ※ 土質資料		※ 超音波探傷試験 試験方法等 ※ 標仕5.4.10 (4) (a)による		· C種					平均出検品質限界 (AOOL) (%) ※ 4.0 2.0 検査水準 ※ 第6水準
2. 既製 材料	(4. 3. 3~8)	-	・ 引張試験 試験方法等 ※ 標仕5.4.10 (4) (b)による ・	10. 打増し厚さ	打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面	面する部公に限	۵)	(6. 8. 1)		・ 現場溶接の場合 ※ すべての溶接部について行う
コンクリート杭地業 種類、	性能、曲げ強度による区分等 ※ 構造図 () による ・	④ 鉄筋の継手	継手方法 (5.3.4)(5.6.3) 適用箇所 継手方法と適用径の範囲		- 20mm -					外観検査 ※ 行う(検査率 ※ 全数・・・・)・ 行わない
	∦部形状 ※ 構造図()による け法、継手の箇所数 ※構造図()による		 ・ 柱主筋 ・ ガス圧接(D19以上) ・ 重ね継手(D16以下) 		 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面 10mm 20mm 	面する部分に限っ	る)			(H12建設省告示第1464号第2号、鉄骨精度検査基準 (JASS6) による) ※製作工場の自主検査はすべての箇所とする。
施工方法	去 メントミルク工法		・ 梁主筋 ・ ガス圧接 (D19以上) ・ 重ね継手 (D16以下) ・ 耐力壁 ・ 耐力壁 ・ 重ね継手		・外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm				19 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲及び塗装種別 ※ 構造図 () による (7.8.2) (18.3.2)
支持	寺層の位置及び土質 ※ 構造図()による		・ ガス圧接()・ 土圧壁など ・ ガス圧接()・ ・ ガス圧接()・ ・ ガス圧接()・		T増し範囲 ※ 図示 () (:	による・			・ 対上の空表	耐火板復村の接着する国の企業を配放し企業程列 ※ 博垣図 () による (1.8.2)(18.3.2) 耐火板運材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 標仕7.8.2による ・ 構造図 () による
	判深さ、杭の支持地盤への根入れ長さ ※ 構造図 () による D精度 ・ 水平方向の位置ずれ: 杭径の1/4かつ100mm以下 - 杭の傾斜: 1/100以内			① 型枠	せき板の材料		(6. 8.	(表6.8.1)	20. 耐火被覆	耐火被覆の種類、材料、工法及び耐火性能 ※ 図示 () による (7.9.2)
	・ 製造メーカーの仕様による 固め液及び杭周固定液の管理試験 ※ 標仕4.3.4 (6) (1) (a) ~ (g) による	 5. 鉄筋の継手及び定着	 		※ 合板 (・ 表面加工品 ・ 表面 あ)			材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
· 特定	定埋込杭工法(H13国土交通省告示第1113号第6に基づく埋込杭工法)	5. 欽舠の秘士及び定店	鉄筋の重ね継手 ※ 各部詳細図参考図、標仕表5.3.2による ・ 構造図 () による		厚さ ※ 12mm ·				21. 溶融亜鉛めっき	(7. 12. 4) (表14. 2. 2)
	寺層の位置及び土質 ※ 構造図による 判深さ、杭の支持地盤への根入れ長さ ※ 構造図 () による		耐力壁の重ね継手の長さ ※ 標性5.3.4 (3)(7)による ・ 構造図 () による 先組み工法等で、柱及び梁主筋のうち、隣合う継手を同一箇所に設ける場合 ・ 構造図 () による		・ 断熱材兼用型枠の使用 ※ 建築 ・ MCR工法用シートの適用 ・ 図示					種別等 亜鉛めっきの種別 材料 適用箇所
	D精度 ※ 工法に定められた条件による		鉄筋の定着長さ ※ 各部詳細図参考図、標仕表5.3.4による 構造図 () による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さが、標仕表5.3.4のフックありの定着長さを		スリーブの材種 ・ 標仕6.8.2(9)(イ)及び標仕 表6.8.1に					・ A種 (HDZ177) 最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板 ・ B種 (HDZ163) 最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 ※ 構造図 () による
· 7-	- ク溶接継手		確保できない場合 ※標仕図5.3.3、標仕5.3.4(5)(4)(a)~(c)による ・構造図()による	10 4	+			- 1		・ C種 (HDZT49) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 ・
*	或式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) ※ 工法、検査、施工は性能評価された工法に定められた条件による		機械式定着工法の適用 ・適用しない ・適用する (適用箇所及び種類 ※ 構造図による)	12. 生コンの品質管理	打ち込み量50m3以上となるコンクリート3 供試体には、工事受注者がサインしたQCM		は担当技術者を配置し、監督職員に報告する 側面に張り付ける確認版)を入れる。	_ E .	<u> </u>	最小板厚 1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
杭頭の処 ※ 權道	処理 色図による	6. 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔	最小かぶり厚さ(目地底から第出を行う) (5.3.5) ※ 標仕表5.3.6による ・ 構造図 () による	③ コンクリートの	※ 行わない				22. 梁貫通孔の補強	補強形式 ※ 構造図 ()による
杭頭	頂のふさぎ処理 ※ 構造図()による ・	(溶接金網含む)	柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・ 無し ・ 有り (※ 主筋の径の1.5倍以上の厚さ確保)	単位水量測定	· 行う					適用箇所 ※ 構造図()による
	こよる他、別図の製造メーカーの仕様による 	-	特殊な要求性能におけるコンクリートの部分(耐久性上不利な部分) ※ 無し ・ 有り 適用箇所 () 標仕表5.3.6に加える厚さ () mm				Fし時に品質の異常が認められた時に実施。	ა	1. 軽微な変更への対応 (予め検討)	施工の関係上、止むを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、予め検討を行っている範囲 及び対応方法
③ 鋼杭地業 材料 形状、	(4.4.3~6) 寸法、仕様等 ※ 構造図()による ・	7. 機械式継手	通用箇所、性能、種類、鉄筋総合のあき等 ※ 構造図 () による ・ (5.5.3、5)		(2) 単位水量の上限値は、標仕6.3.2 (3) 単位水量の管理目標値は次のとお		にする 。	0	(100根則)	尚、本検討は計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を
溶接材	才料 ・ 標仕4.2.5(1)(2)による	100 100 Professor 3	施工完了後の試験 ※ 外観試験(試験項目、試験方法、不合格となった場合の措置 ※ 構造図による)		1) 測定した単位水量が、計画調合		Lyる。 以下、「設計値」という)±15kg/m³の範囲	:ある 代		許容するものではない ・ 杭の芯ずれを考慮した検討
	定埋込杭工法(H13国土交通省告示第1113号第6に基づく埋込杭工法) ① 鋼管圧入工法		※ 超音波測定試験 (試験対象、不合格となった場合の措置 ※ 構造図による)				Okg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原		-	予め検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による ・杭の長さの変更を見込んだ検討
	寺層の位置及び土質 ※ 構造図による 列深さ、杭の支持地壁への根入れ長さ ※ 構造図 () による	8. 溶接継手	適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき等 ※ 構造図 () による (5.6.3、5) 施工完了後の試験 ※ 外観試験(試験項目、試験方法、不合格となった場合の措置 ※ 構造図による)				その運搬車の生コンは打設する。その後、 合毎に1回、単位水量の測定をする。	設計値		予め検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による・・
	D精度 ※ 工法に定められた条件による		※ 超音波測定試験 (試験対象、不合格となった場合の措置 ※ 構造図による)		 設計値±20kg/m³を超える場合 	合は、生コンを持	打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を ばならない。その後の全運搬車の測定を行い			梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 予め検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による
· 7-	−ク溶接継手 ② ネジ切り	9. 各部配筋	※ 各部配筋参考図及び構造図() による		±20kg/m³以内であることを確	確認する。更に、	はならない。その後の至連版単の測定を行い 、設計値±15kg/m³以内で安定するまで運			
*	或式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) ※ 工法、検査、施工は性能評価された工法に定められた条件による	10. 壁開口部の補強	壁開口部の補強 ※ 各部配筋参考図及び構造図()による		3台毎に1回、単位水量の測定を 4) 3)の不合格生コンについては、		帯ったことを確認する。			
杭頭の処			梁開口部の補強 ※ 各部配筋参考図及び構造図 ()による ① 鋼管圧入工	; ;		書面(計画調合	書、製造管理記録、打込み時の外気温、コ	クリート		
杭頭	頂のふさぎ処理 ※ 構造図()による ・		U MECCAL		(5) 単位水量の測定方法は、高周波割	(誘電加熱乾燥法	ま(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電?	量測定法に		
※ 上記に	こよる他、別図の製造メーカーの仕様による				よる。また、試験機関は該当コン	ンクリート製造	宣所以外の機関とする。			
					<u> </u>			自らつく!	の退動歴本番	2024.07改訂
3	田市都市建設部建築課		事業年度		L	事			の湯整備事業 の湯施設改修 建築 <u>3</u>	
	一一一一一人。		R-06			図	│ 名 │ 構造	関係 特証	2仕様書	No Scale / 30

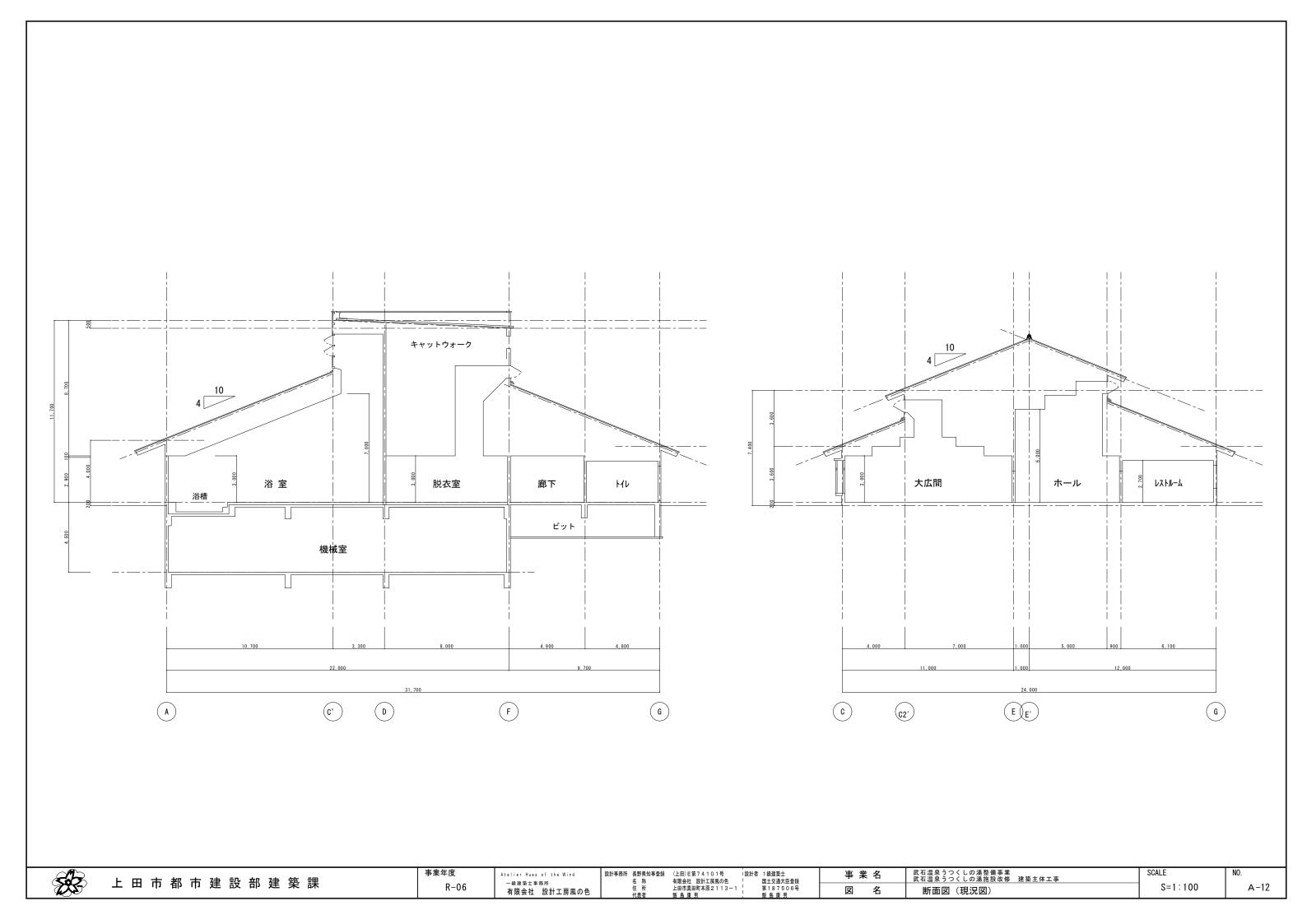
						Π.					(5.4.0)	1.		1		
武石温泉	うつくしの湯整備事業		6. 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 ※ 行う	(3.12.1)	3	3. PCBを含む機器類	種類、	、位置 現場説明書による ※ 図示 ・		(5. 4. 1)		石綿含有仕上塗材 の除去	除去範囲 ※ 図示・ 着工前の試験施工 ※行う・・行:	わない	(6. 6. 1)
武石温泉	うつくしの湯施設改修 建築主体工事特記仕様書			整地高さ ・ 現状GL ※ 行う (※ 図示 ・)		-		機器類	類は適切な容器に納め、工事完了後、誰 方法	引書と共に監督職員に引き渡す。	(5 4 1)			除去工法 ※ 集じん装置付きディスクグライン	ダーケレンT法	
				埋戻し及び盛土の材料		"	シーリング材		パス 標準施工要領書(日本シーリング工事業)					集じん装置付併用手工具ケレンエ	法	
I 解体工事概要				・山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンク 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。	フリート砂			撤去氧	新田					・ 集じん装置付き高圧水洗工法 (15 ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (
	上田市上武石1454-3			生伏し及び壁上に当たりでは、竹屑300m程度乗に締め回めること。 ・ 行わない				W 五単						 ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 	TOOMFa以上)	
1. 工争場所	工田巾工队行1434-2		4 6n.m-m	去一支4. [注题][注题: 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.				シーリ	リング材は適切な容器に納め、工事完了	?後、調書と共に監督職員に引き渡す。				・剥離剤併用手工具ケレン工法	ND-)	
2. 敷地面積(m³)	,m²	4	1. 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当	当該システムにデータ入力を (6	o (7 石綿含有分析調査	* E			(1.4.1)			 剥離剤併用高圧水洗工法(30~50 剥離剤併用超高圧水洗工法(100M 		
3. 除却対象物	建築物 ・ 工作物 ● 建築設備 ● 家具等 ● 樹木 ● その他	建設		行う また 同システルにトリエ車等手時に再生姿類利用計画業及び再生姿類利	(1田促進計画業太工事空で	5	•	I	工事着手に先立ち、目視及び貸与する話		ている吹き付け材、成形板、			・ 超音波ケレン工法(HEPAフィルタ	一付掃除機併用)	
		棄	② 再資源化等	時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとす	『台。 	8			建築材料等の使用の有無について調査し 調査範囲 図					処分・埋立処分(管理型最終 ※埋立処分(安定型最終	冬処分場) ・ 中間処理(溶融施設) 冬処分場)	
除去対象建物等	種 別 構 造 階 数 梁間(m) 桁行(m) 建築面積(m) 延面積(m)	0 0	1250,000	建設廃棄物の種類 中間処理施設、再資	資源化施設等 有	1		貸	貸与資料 ()	-			71 22/07/22/2017		
温泉施設	改修 鉄骨造 B 1、地上 2 1, 262㎡ 1, 337㎡	理		※ コンクリート※ 監督員の承諾する施設・現※ コンクリート及び鉄からなる建設資材	見場説明書による 材の	7 0			分析による石綿含有建材の調査 分析対象			7	1. 施工調査			(7.1.3)
				(PC板、コンクリート平板、 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現	見場説明書による	£			ファッパメッル アモサイト、クリソタイル、クロシド	・ ・ ライト、アクチノライト、アンソフィ	ィライト、トレモライト	特		分別調査を行う特別 採取す 管理産業廃棄物等の種類 又は	「る部位 採取する数量	備考
				コンクリート二次製品)	望り サート 7	ŧ		5	分析方法 - XX	· - A+***********************************	T-1/77 - 1 - 1 - 4 - 0	殊な		日は性未廃来物寺の住城 大は ・図示	回川寺	
				※ 木材 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現 ※ 木材 (縮減) ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現	現場説明書による 現場説明書による				※ JIS A 1481-2 (建材製品中のアスペ 含有の有無を判定するための定性分		及びアスペスト言有の	建設		. () 箇所	
				※ アスファルトコンクリート ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現	見場説明書による				 JIS A 1481-3 (建材製品中のアスペ 		ト含有率のX線回折	産		・図示・() 簡所	
				※ 金属類 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現 ※ 小形二次電池 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現	見場説明書による 見場説明書による			_	定量分析方法) 材料名	定性分析	定量分析	初 の		- 		(7, 3, 1)
Ⅱ 解体工事仕様				※ 蛍光ランプ、HIDランプ ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現	見場説明書による					箇所数()	箇所数()	理	2. 回収及び処分	回収及び処分を行う特殊な	含有機器名称 回収ご	スは処分業者名
1. 共通仕様					見場説明書による 見場説明書による			_			・ 箇所数() ・ 箇所数()			建設副産物の種類・フロン	※ 監督員の承諾する	
	に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」 :」という)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事			※ 廃石膏ボード ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現							箇所数()			· ハロン	※ 監督員の承諾する	業者・
	事編)(最新版)」(以下「標仕」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、				見場説明書による				サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示					・ イオン化感知器・ 六フッ化硫黄(SF₆)ガス	※ 監督員の承諾する ※ 監督員の承諾する	
「改修標仕」とい	5)による。		3. 現場利用する	<i>ръ</i> ц # в д					体状图则 . 四小 .					・ PFOSガス	※ 監督員の承諾する	
 特記仕様 (1) 項目は、番号に) 印の付いたものを適用する。		再資源化された 建設廃棄物	名称 仕様 数量	備 考	2	2. 石綿粉じん濃度測定	测定	定時期・場所及び測定点	SIO F	(6. 1. 3)			· .	※ 監督員の承諾する ※ 監督員の承諾する	
(2) 特記事項は、 🖸	印の付いたものを適用する。							測	定名称 測定時期	測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)	備考			:	※ 監督員の承諾する	
	l合は、※印の付いたものを適用する。 けいた場合は、共に適用する。							· 溴		業室内 各 点	-		0			
	〈 〉内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。		4. 産業廃棄物広域		(4,4,2)			• 溴	則定 2 処理作業前 施工区 敷地境	画周辺又は 界 計 点	-	®		エ事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化		
		_	認定制度の活用	種 類 所 在 均				· 溴	則定 3 処理作		-	その	W. 11. 11.	地域住民への情報提供		
章 項目	特 記 事 項							• 溴	測定 4 セキュ ゾーン		空気の流れを確認	他		・情報掲示板の設置 ・パンフレ	ノットの作成	
● 適用基準等	※ 工事写真の撮り方(改訂第三版)建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修			・現場説明書による・・				-	処理作業中 集じん	・排気				住民に対する災害防止関係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備		
_ en	※ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版)		L	現場説明書による・				• 測	則定 5 装置の	排出口 各 点 F業室外の場合)	装置の性能確認	ſ	産業廃棄物の	廃棄物の処理の全部又は一部を委託する いる者に委託すること。また、施工前に	場合は、廃棄物処理法に基づく処理を ・産業廃棄物処理系式却約者の原! **	業として許可を取得して 業廃棄物処理業の計画
世 共 -	公 公共建案以修工事標準工候者(建案工事編) 建設省建設経済局建設業課・ 住宅局建築指導課監修		⑤ 最終処分する	n the Below (18 of the Below the Bel					施工区	画園切りけ			収扱いについて	証の写し、許可運搬車両一覧並びに処名		
通事	※ 建設副産物適正処理推進要綱 (以下「推進要綱」という)		建設廃棄物	名 称 最終処分場の種類 数 量 ※ 石綿含有せっこうボード ※ 管理型・	備 考				則定 6 敷地境					すること。		
項	※ 長野県建設リサイクル推進指針			※ アスベスト含有成形板 ※ 安定型・					則定 7 処理作業後 施工区	面用 切 マ け				また、産業廃棄物処理状況記録及び写真		
② 電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない (1.3.3)	- 1							別足 6 (ジート後生中) 敷地境:	界				(i) 搬出された産業廃棄物の処理状 ① 処理の全部又は一部を委託した		
③ 施工条件明示項目	※ 適用する 適用しない (1.3.3) ※ 現境設明書による (1.3.5) ※ 引渡しを要するもの (1.3.10)			最級加公体設 ※ 貯収員の予禁する体設 ・ 項根説明章による				<u>- 溴</u>	測定 9 処理作業後シート 処理作	業室内 各 点					- 35 ロ フェストに準じた搬出解体材の数量集計	表
4. 引放しで安りるもの		-	処理に注意を要する	最終処分施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による	⟨4.5.1⟩					象室外部の付近 計 点	-			イ 最終処分場の案内図及び処分 間処理状況の写真)	分状況の写真(中間処理にあっては中間がある。)	型理施設の案内図及び中
	名称 仕様等 備考	-	建設廃棄物	名 称 仕 様 数 量 ※ 特定廃石膏ボード	備考				点位置 ※ 図示 ・	E 中の維維化数ス測ウナ法 - 第1朝・20	学昭崇德注及10			② 請負者が自ら処理した場合		
		-		※ 存足廃石省小一下 ※ CCA処理木材					綿粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気 査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕		于與限號広及び			ア マニュフェストに準じた解体		n 四 井 弘 の 中 中 同 五 4 (土 間
□ 解体工事施工技士	・ 現場説明書による 本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の配置を行うこと。								定機関は、都道府県労働局に登録されて	こいる作業環境測定機関とする。				イ 最終処分場の柔内図及び処分 処理状況の写真)	}状況の写真(中間処理にあっては中間が	型理施設の案内図及び中間
⑤ 解体工事施工技士	本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の配置を行うこと。 							白綿花	粉じん濃度測定方法	uni nun	- Trick			③ 特別管理産業廃棄物の場合		4. Mr. 11 24 a ++ - 7
② ② 足場その他	足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省、平成21年4月)の			最終処分施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による						定4 測定5 ・ 測定	・測定			①又は②に準する。ただし産業月 (ii)産業廃棄物の再資源化実施状況	8棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄 記録	物管埋票と読み替える。
仮	「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時 には、常時すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。			「特定廃石膏ボード」とは、以下の石膏ボード製品が廃棄物となったもの。 ① ひ素混入石膏ボード					☆機器 位相差 √ブレンフィルタの直径 25 mm	顕微鏡 ■ 47 mm	47 mm			再生資源利用促進実施書に記載する	5事項	
工	なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置			商品名 : タイガーボード				試料	iの吸引流量 5 L/min	n 10 L/min	10 L/min			発生量、搬出先名称、区分、施コ (iii)写真	「条件の内容、搬出先名称、運搬距離、	搬出先の種類等
野辛、粉磨等の対策	<u>方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</u> <u>阪音・</u> 粉塵等の対策 (2.2.1)			工場名 : 小名浜吉野石膏㈱いわき工場 裏面表示マークは「吉野石膏OY 製造期間 : 昭和48年3月~平成9年4月	Yı				4の吸引時間 30 min 4の透明化 アセト	<u></u> 120 min ン−トリアセチレン法又は、シュウ酸シ	240 min			① 工事着手前の現場全景、周辺及	なび対象建築物等の現況写真	
0 WE 10 E 40 N/K	※ 防音パネル ・ ・ ・ ・ ・			JIS許可番号: 277057、277058					後アス・総アス・	ベスト繊維数200本 又は視野数50視野				② 仮設物、安全措置状況及び工程 こと。)	呈写真(除却作業状況、埋設配管等及び	基礎類は入念に撮影する
	設置範囲及び高さ ※ 図示			ロット番号 : 0373000000000~049700000000				計数	直径3μ (アスベスト (f: 繊維本数) 0 50.67	um未満、長さ5μm以上、長さと直径比				③ 使用機械類		
③ 監督員事務所	・既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する ※ 設けない 〈2.3.1〉			② カドミウム混入石膏ボード 商品名 : アドラせっこうボード				報告書	書の作成(記録する項目)	0.5 f/L	0.3 f/L			④ 産業廃棄物収集運搬車両への利 ⑤ しゅん工時の全景写真(着手時		
	規模及び仕上げの程度は現場説明書による 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)			工場名 : 日東石膏ボード㈱八戸工場 裏面表示マークは「日東石膏ボ	ボード株式会社」				、測定結果					⑤ しゅん上時の宝宝与具(右手時 ⑥ その他監督職員の指示による	と同一アングルとする。)	
	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)			製造期間 : 平成4年10月~平成9年4月 JIS許可番号: 265023、265024					、測定時間 、測定位置(測定高さとともに図面上に	記載する。)		ł	3. 騒音、振動調査			
				ロット番号 : A4Y410~A9430				I,	、サンプリング条件(メンブレンフィル					調査方法については設計図書による。 調査項目 ・ 土壌調査(含有量試験・		
③ ● 事前措置	機械設備及び電気設備の切替・遮断等 (3.2.1) 請負者が同工事の許可業者でない場合は、監督職員と協議の上、同工事の許可を取得している業者に		● 施工調査		⟨5, 1, 2⟩				、マウンティング方法 、顕微鏡視野面積、計数視野数				4. 土壌調査	調査項目 ・ 土壌調査 (含有量試験 ・ ・ ノルマルヘキサン抽出調査		
解体	委託する。	#±	10年10月里	分析調査を行う特別 採取する部位 採取する数量	備 考			+、	、測定時(各測定場所ごと)天候、温度、					土壌汚染に係る環境基準に準拠するこ	٤.	
施工工	油類タンク のはに生立す。 鮮料和節、 鮮料様、 鮮料小山梅等に味油がないことも珍可する。 必要になじて味油も生き	別答		官埋産業廃業物寺の種類 又は固所寺)				 жm × млт			ŀ		調査箇所については設計図書による。 (1) 工事の着手、施工、完成にあたり、	明反場明への必要か子結竿も深延かく	
	解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き 取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。	理		・ 図示 ・ () 箇所		'	 石綿含有 吹付け材の除去 		応囲 ※ 図示 ・ の詳細 ※ 解体共仕6.3.2による他、8	部位・内容に応じた工法は専門工事業	〈6.3.2,3〉 者の仕様とする。			(2) 前項に規定する届出手続等を行うに (2) 前項に規定する	国示版 NOW安は十歳寺を埋埋なく あたっては、 国出内容についてあらか	1. /。 <u>じめ監督職員に</u> 報告する。
	空調機器等の冷媒 ・ 冷媒を屋外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。	産業産		・ 図示・ () 箇所				飛散防	防止 ※ 密封処理	休田」とはいやて担禁士 させかさる	で担除様フィック	Ī	疑義に関する協議等	(2) 前項に規定する届出手続等を行うに 設計図書に定められた内容に疑義が生し	たり、現場の納まり又は取合い等の関	係で、設計図書による
	お深を屋外機にホンフタワンした後撤去を行う機器は下記による。 図 面 番 号	- 棄		・ () 箇所 ・ 図示					M離養生に用いたシート、 粉じん機フィルタについて	使用した使い捨て保護衣、高性能真空 こも密封処理を行う。	E1mi示1成ノ1ルグ、	t	文化財その他の	ことが困難又は不都合な場合が生じたと 工事の施工にあたり、文化財その他の地	- C は、血日吸見 C 励識する。 里蔵物を発見した場合は、直ちにその状	況を監督職員に報告する。
		- 等		・()箇所					※ 湿潤化 ・ セメント固	11化			埋蔵物	その後の措置については、監督職員の排	5示に従う。また、当該埋蔵物の発見者	としての権利は、法律の
	 	- 処理		PCB 含有シーリング分析調査	⟨5. 4. 1⟩	- 1			· 埋立処分(管理型最終処分)	場) 中间処理(溶餓施設)		+	8. 埋蔵文化財調査	定めるところにより、発注者が保有する 「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当	o ・ 該当する ・ 該当しない	
		- 等 -		第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。		4	4. 石綿含有 保温材等の除去		範囲 ※ 図示 ・ 工法 ・ 粉砕して除去 ※ 手ばら	L.	(6.4.3)			掘削作業時の教育委員会等の立会い	・ 有 ・ 無	
	冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。	_		第二次判定			×≖□ 4公MV	飛散防	防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化			+	☑ 環境対策関係	埋蔵文化財調査の時期 (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、	解体工事終了後 解体工事中 低振動型 排出ガス対策刑建設機械レ	すること。
	図面番号 記号	-		専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 PCBを含む機器の微量PCBの分析調査				処分 ※石組	・ 埋立処分(管理型最終処分: 綿含有けい酸カルシウム板第2種を含む				マ ネルバス 本内 本	(2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。	ただし、監督員の承諾を受けた場合は	
		-		. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					「解言有けい酸カルンワム仮弟2種を含む」					ルートの選定に当たっては影響の少	>ない最短ルートを選定すること。	
		-		絶縁油のPCB含有量の分析基準	2000	l _	_		節囲 ※ 図示 ·		(6. 5. 3)			(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努め		
	No. 11 de 124 London	-		※ 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法(平成4年7月 ※ 絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定(電気技術規定JEAC1201-1991)	H N 口厚生自古不弟 I 92号)		成形板の除去	処分		Martin Tal Edd to A 1973			安全対策関係	(1) 工事現場においては、労働災害、2 教育、研修及び訓練を行うこと。	3.水火舌防止に努めるとともに、全作業	貝を対象に定期的に安全
	浄化槽、排水槽等 解体に先立ち、汚水及び汚物は、回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への			•					綿含有せっこうボード ※ 埋立処分(「 綿含有せっこうボードを除くアスベスト					(2) 安全教育、研修及び訓練については		
		_		焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査基準 ※ 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月	325日付基発筆401号)				埋立処分(管理型最終処分場)・中	中間処理(溶融施設)				ほか、実施結果、実施状況の写真、 (3) 原則として代理人(主任)以外の領	安全教育に使用した資料等も整理する 第三者により、月1回以上店社による安ま	
2. 杭の解体	・行う ・行わない (3.9.2)杭の解体工法								去の部位・内容に応じた工法は専門工事 綿含有けい酸カルシウム板第1種の除去					日誌へ記載するほか、点検内容等を	と別書面に記録し、実施状況の写真を撮	影すること。
	のの//所件上点 - 引技を工法 - 破砕による解体 樹木の伐採伐根及び移植 (3.10.1)	_	2. 特別管理産業 廃棄物の処理	特別管理産業				除去	去範囲 ※ 図示・					(4) 下請業者にKY(危険予知)、TBM(ともに、随時、実施状況の写真を接		その記録を整備すると
3 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 (3.10.1)	1	先来がいた生	廃棄物の種類 は 様 数 重	備 考				離養生(負圧必要)方法 ※ ピニー. 場 ・ 図示	ルシート等による養生を行う				(5) 下請業者を含め、作業員に対し現場	陽内容に即した新規入場者教育、安全教	
4. 地下埋設物·	************************************	-†		· 廃石綿					場 ・ 凶示 分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場)	· 中間処理(溶融施設)				書類及び使用した資料等を整理する	るとともに、随時、実施状況の写真を撮	影すること。
埋設配管	_ ○ 行う (場所: ○ 図示) ・ 行わない 電柱の搬去 ・ 行う (・ 図示 ·) ・ 行わない			・廃油 ・廃酸							ο₩+ B16			(6) 上記の(2)~(5)の活動については、 工事検査の際に提示できるようにす		
5. 屋外設備等	電柱の撤去 ・ 行う(・ 図示 ・			・ 廃アルカリ					ビニル床シート、ビニル床タイル、塩 の撤去は 「集塵装置付グラインダー		の淑女 及ひ	Ī	工事検査	工事検査の際に提示できるようにす 施工途中において工事検査担当職員また	とは、発注機関の長の指定する職員によ	る抜打ち検査を実施する
I		1		・ダイオキシン類汚染物					他工法での撤去も可能(監督員との協		賃負代金額の変更は行わない。	+	① 被害届等	ことかめるので、検査に協力すること。 暴力団関係者から工事妨害による被害す	受けた場合は、被害届を凍やかに警察	に提出すること。
												ţ	施工図等の取扱い	ことがあるので、検査に協力すること。 暴力団関係者から工事妨害による被害る 施工図等の著作権に関わる当該建物に 上記による他、監督員の指示による。	る使用権は、発注者に移譲する。	
													少 提出物	上記による他、監督員の指示による。		
				■ 東							井石洞内 こっ / :	I Ø 'P	数决事类		COME	2024. 07改
	L 四 古 坝 士 冯 玑 如 冯 瓴 珊			事業年度						事 業 名	武石温泉うつくし 武石温泉うつくし		¦整備事業 ¦施設改修 建築主	<u> </u>	SCALE	NO. A-07
1 %XX	上田市都市建設部建築課			R-06						図 名	解体工事 特				No Scale	A-0/











外 部 仕 上 表

浴室部分:耐火野地板t=25下地 7ス77/トル-7-イング22kg品 ガルバリウム鋼飯t=0.4-文字葺き 一部 ガルバリウム鋼飯t=0.5折版葺き (ハゼ) H=90 システム断熱工法(グラスウールボードt=25) 歴根・幕板・軒天: カラー7ルミバネルt=1.5加工 屋根・幕板・軒天: カラー7ルミバネルt=1.5加工 日本 か 「 M 「 リウム鋼飯t=0.5折版葺き (ハゼ) H=90 システム断熱工法(グラスウールボードt=25) 本製 木材保護着色塗料塗り 下穏: が 「 M 「 リウム鋼飯t=0.5加工 受金物:FB-5×50 FP 下稿: スデストンス契め 100・75 (既製品) 下稿: ステンレス製の 100・75 (既製品)	屋根	切妻部分:耐火野地板t=25下地 7スファルトルーフィング22kg品 和型陶器瓦葺き	外 壁	壁: ALC版t=100 弾性リシン吹付 一部 結晶化ガラス貼り	露天風呂	床面:鉄平石貼り 浴槽:7ススフルト防水 押えコンクリート モルクル 鉄平石貼り 周囲:巨石積み
軒 天 ケイ酸カルンワム板で10月酸し張り VP塗り 一部有礼板 福園・昌間 木製 木材保護産門塗料塗り				腰:コンクリート打放し 弾性リシン吹付 一部 鉄平石貼り H=1,000	キャノピー	屋根・幕板・軒天:カラーアルミバネルt=1.5加工
	軒天	ケイ酸カルシウム板t=6目透し張り VP塗り 一部有孔板	破風・鼻隠し	木製 木材保護着色塗料塗り	雨 樋	軒樋: ガルパリウム鋼飯t=0.5加工 受金物: FB-5×50 FP 竪樋: ステンレス製φ100・75 (既製品)

壁: ALC版t=100目地部分 アクリルコーキング打替え 着色塗装

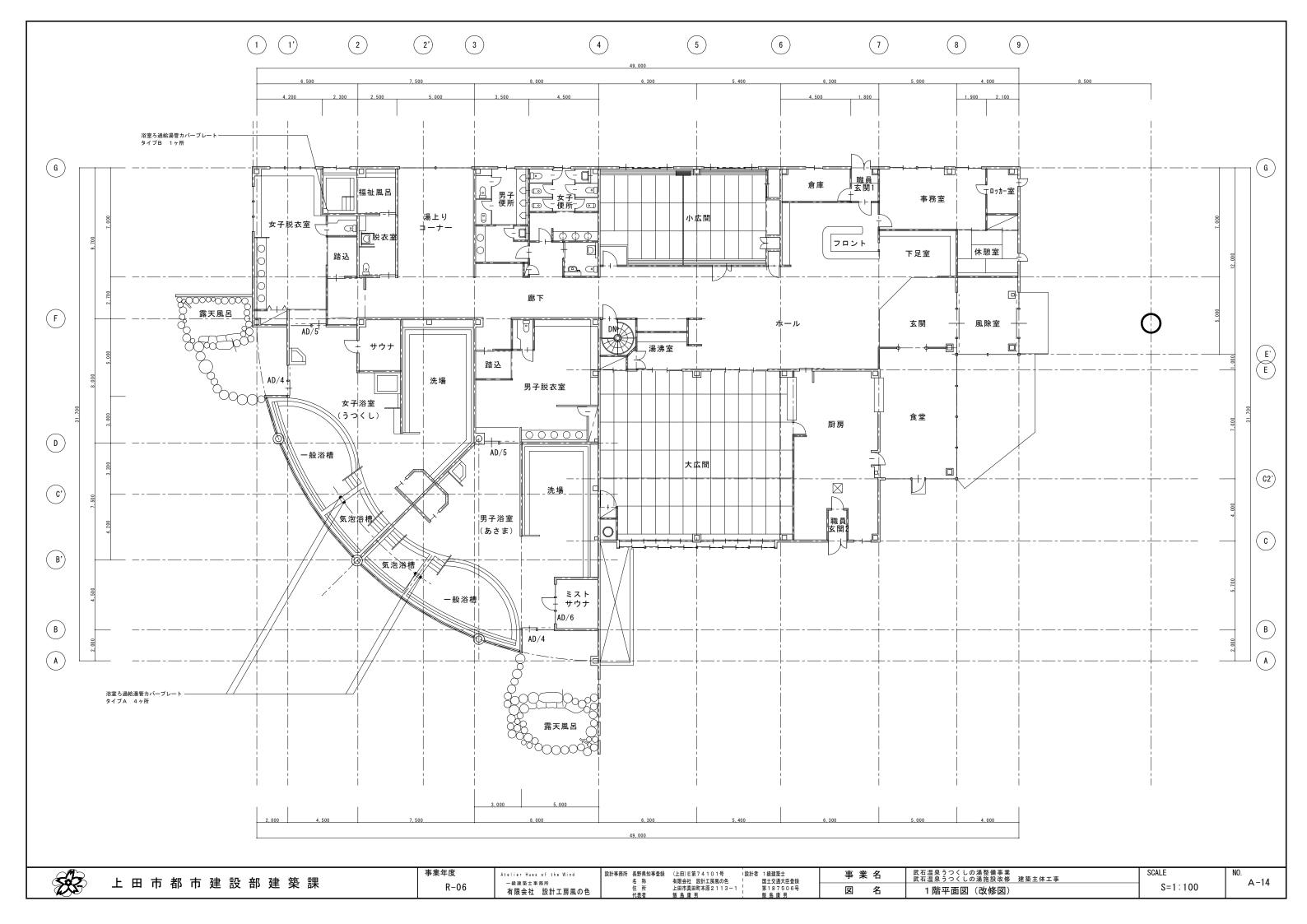
内 部 仕 上 表

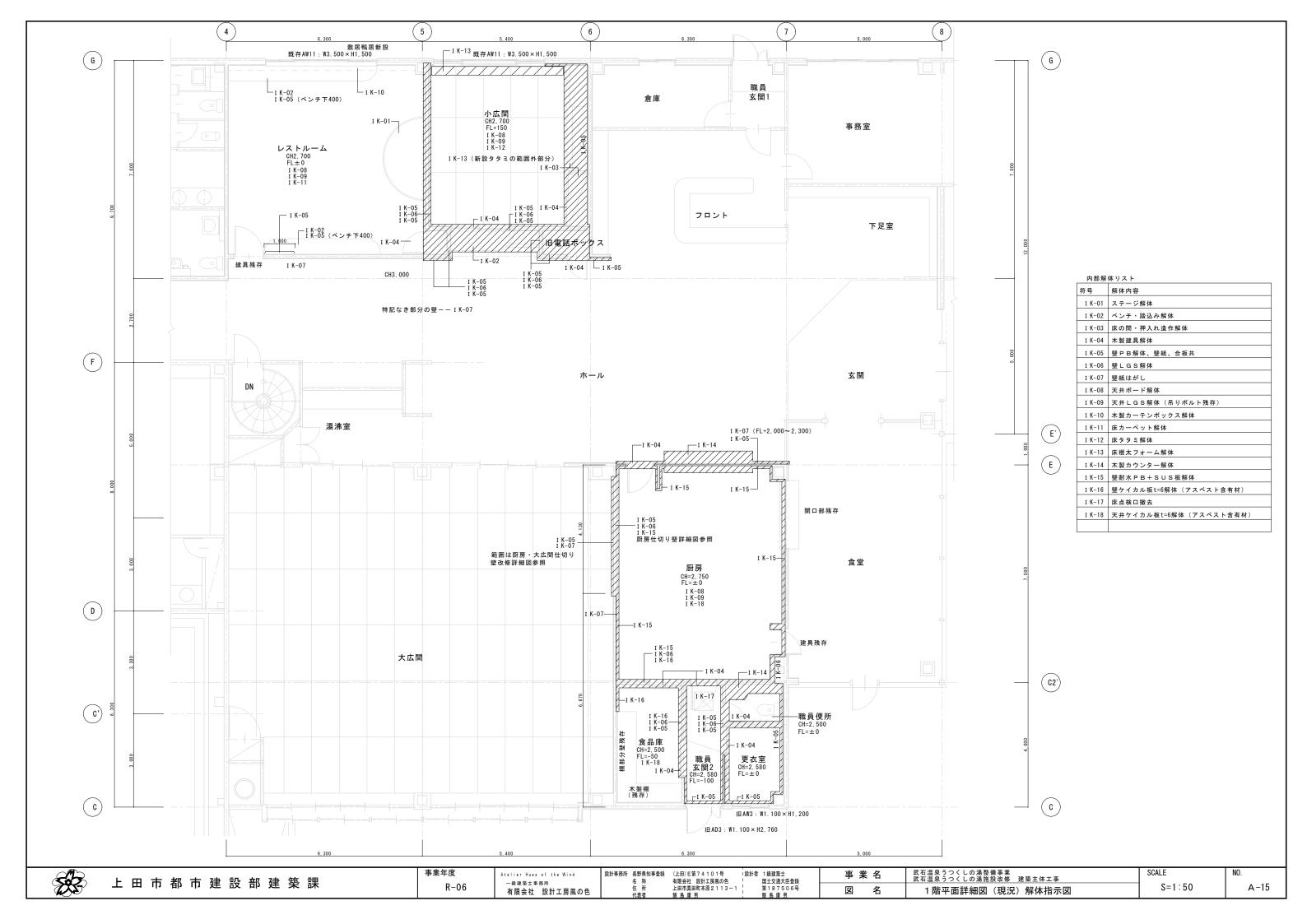
外部改修

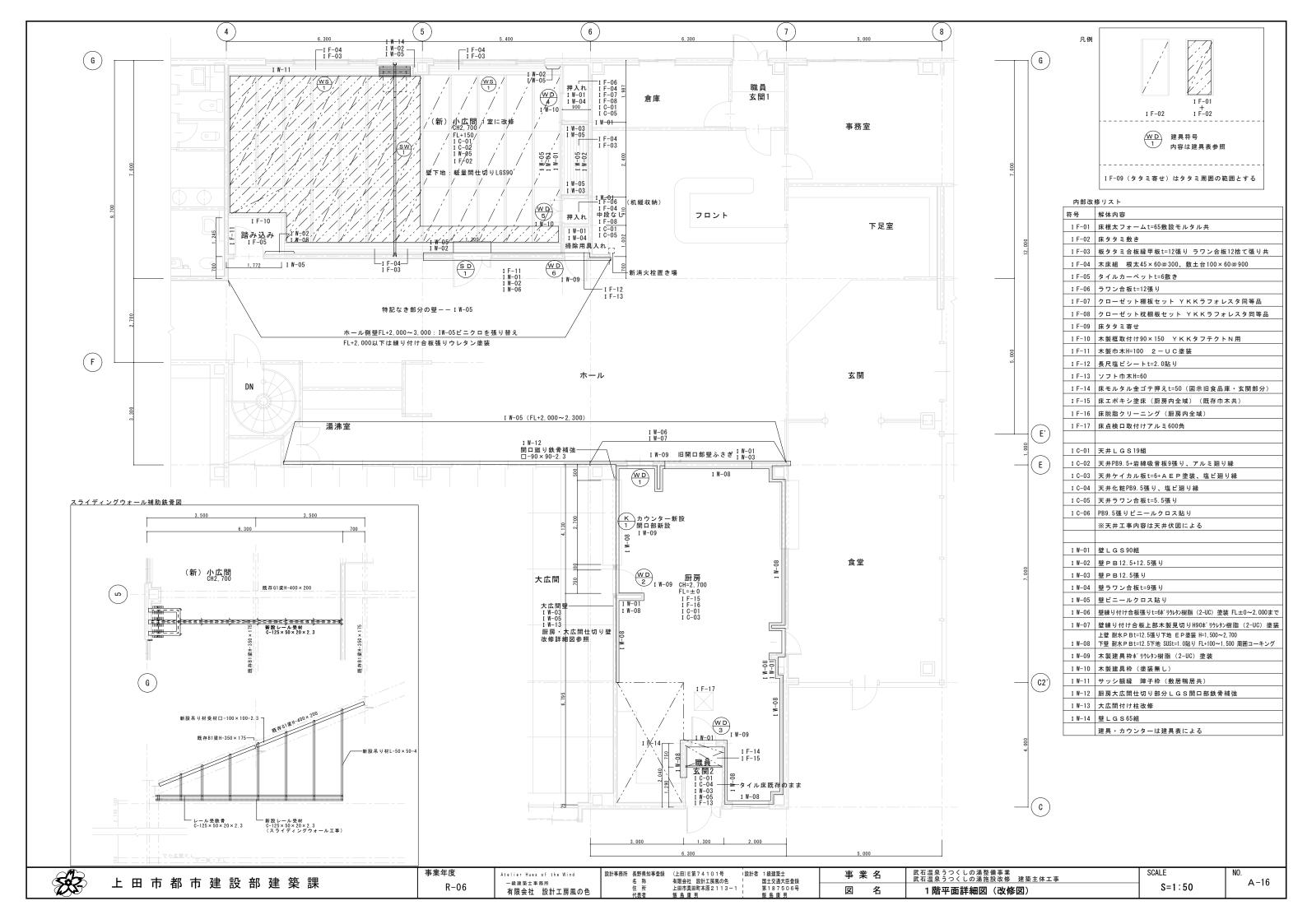
改修	T5 +#h	床	±+++0	市木		T th	壁	T#1	天井	5++++-○ 福经	廻縁	備考
租没	. =		有材は〇			LGS	壁: ダンカー貼り H=2,000			11100	3.000	
						AL_C						
	コンクリート金コ゛テ				100	LGS	壁: ダンカー貼り H=2,000				3,000~	
+	(床暖房) + tルタル					ALC					5, 250	
-					100	1.00	壁: ダンカー貼り H=2,000	1.00			2 000	TD.
	(床暖房)					·						下足入
-					100	LGS	17. 17.2	1.00			6.000~	
	(床暖房)					AL_C	腰:PBt=12.5下地_ビニルクロス貼り				7, 800	
				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		LGS	11112 7 7112				3 000~	
+	_ ユンクリート金ューテ(床暖房)	磁器質200角タイル貼り 		木製 OSCL 	100	ALC	E : P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り	LGS 	PBt=9.5搭張り ロックウール吸音板t=15(リプ)貼り 	木製 	5, 250	
	(非改修)	(非改修)		(非改修)			(非改修) DE · 西水 P P P +-12 5 下 +h 7 元 ル 2 +-1 1 0 B + 以 H-1 500		(非改修)	(非改修)		
現況	_ ナ押エコンクリニト	エポキシ樹脂系塗床材(ノンスリップ工法) 	C) 床材立上げ 	100	LGS	壁: 耐水 P B t=12.5下地 イアルルt=1.0船り n=1,5000	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6目透し張り VP塗り 	塩ビ製	2, 700	カウンター ケイ酸カルシウム板石綿含有調査済、含有なし
改修	脱脂処理	新規:エポキシ樹脂系塗床材(ノンスリップ工法	<u>\$</u>)	床同等改修			新規:壁:耐水 P B t = 12.5下地 ステンレスt = 1.0貼り		新規:ケイ酸カルシウム板t=6張り VP塗り	新規:塩ビ製	2, 700	新規:カウンター
現況	コンクリート金コ゚テ 	エポキシ樹脂系塗床材(ノンスリップ工法)	C	L*ニール巾木 	60	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし貼り VP塗	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6目透し貼り VP塗り 	塩ビ製	2, 500	木製棚は既存のまま非改修 ケイ酸カルシウム板石綿含有調査済、含有な
改修		厨房として改修		厨房として改修			厨房として改修		厨房として改修	厨房として改	修	
現況	コンクリート金コ゛テ	長尺塩ビシートt=2.0貼り		t°=-ル巾木	60	LGS	PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り	LGS	化粧PBt=9.5貼り 	塩ビ製	2, 580	
改修		厨房として改修		厨房として改修			厨房として改修		厨房として改修	厨房として改	修	
現況	モルタル コンクリート金コ゚テ	100角タイル貼り		磁器質タイル ピニール巾木	100 60	LGS	PBt=12.5下地 EP塗	LGS	化粧PBt=9.5貼り	塩ビ製	2, 580	
改修		(非改修)		一部既存同等改修			一部PBt=12.5下地 全面ビニールクロス貼り		新規:化粧PBt=9.5貼り	新規:塩ビ製	2, 580	
現況	コンクリート金コ゚テ	長尺塩ビシートt=2.0貼り		ピニール巾木	60	LGS	耐水PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り	LGS	化粧PBt=9.5貼り	塩ビ製	2, 500	
改修		厨房として改修		厨房として改修	[厨房として改修			厨房として改作	· 多	
現況	モルタル木コ゚テ ネダフォームt=65	タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張り		タタミ寄せ	- 1	LGS ALC	PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り (一部 GL工法)	LGS	PBt=9.5捨張り ビニルクロス貼り	木製	3, 000~ 4, 200	ビニルクロス石綿含有調査済、含有なし
改修	(非改修)	(非改修)		(非改修)		図示	図示改修		(非改修)	(非改修)		
現況	モルタル木コ゛テ えな゛フォームナ=65	タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張り		タタミ寄せ	_	LGS ALC	PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り (一部 GL工法)	LGS	PBt=9.5捨張り 和室用ビニルクロス貼り	木製	2, 700	ビニルクロス石綿含有調査済、含有なし
改修	- 17 - 23 - 25 - 20	 新規:タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張	[ij	 新規:タタミ寄せ		LGS	部分改修: PBt=12.5+12.5下地 全面改修: ビニルクロス貼り	LGS	 新規:PBt=9.5捨張り ロックウール吸音板t=9.0貼り	アルミ	2, 700	
現況	コンクリート金コ゛テ (床暖房)	500角タイルカーペット敷き(デザイン敷)		木巾木	100	ALC	PBt=12.5下地 遮音シートt=1.0 ビニルクロス貼り (一部 GL工法)	LGS	PBt=9.5捨張り ロックウール吸音板t=9.0貼り	塩ビ製	2, 700	
改修	 踏込み部はタイルカーペット敷	 小広間として改修		小広間として改修						小広間としてi	 女修	1
現況	コンクリート金コ、テ	500角タイルカーペット敷き(デザイン敷)		木製 OSCL	100	ALC	壁: ダンカー貼り H=2,000 腰: PBt=12.5下地 ピニルクロス貼り	LGS	PBt=9.5捨張り ビニルクロス貼り	木製	3, 000	
改修	(<u>坏</u> 返 <u>质</u> / (非改修)	(非改修)	·				(非改修)		 (非改修)	(非改修)		1
現況	木製床組	ラワン合板t=12張り		雑布摺	_	LGS	PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り	LGS	PBt=9.5捨張り ビニルクロス貼り	木製	2, 300	中段
 改修	 既存同等改修	既存同等改修		既存同等改修		LGS		LGS			2, 400	
											-	
<u> </u>			·				<u> </u>					
+			· -		+							
	現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現改現、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、修況、	現況 モルタル (非改修) 現況 (非改修) 現況 (非改修) 現況 (床暖房) + もりル (非改修) 現況 (床暖房) (非改修) 現況 (床暖房) (非改修) 現況 (床暖房) (非改修) 現況 (非改修) 現況 (非改修) 現況 12/01-1-金1-7 (床暖房) (非改修) 現況 12/01-1-金1-7 (床暖房) (非改修) 現況 12/01-1-金1-7 (水暖房) 改修 第込み部はタイルカーベット敷 現況 (非改修) 現況 (非改修) 現況 12/01-1-金1-7 (床暖房) 改修 第込み部はタイルカーベット敷 現況 (非改修)	下地 一	で地	下地 世界	で地 アスペスト含有材は〇 仕上 日	東京	改善 下地 アスペスト会布材はO	京都 下地 アスベスト音素的はO 仕上 H 下地 下地 アスベスト音素的はO 下地 下地 である であ	万分 アネベストを有料の 仕上	野性 アキリ マスペスト会質性が では、 下野 マスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質性が 野性 アスペスト会質が 野性 アスペスト会会が アスペ	

外 壁

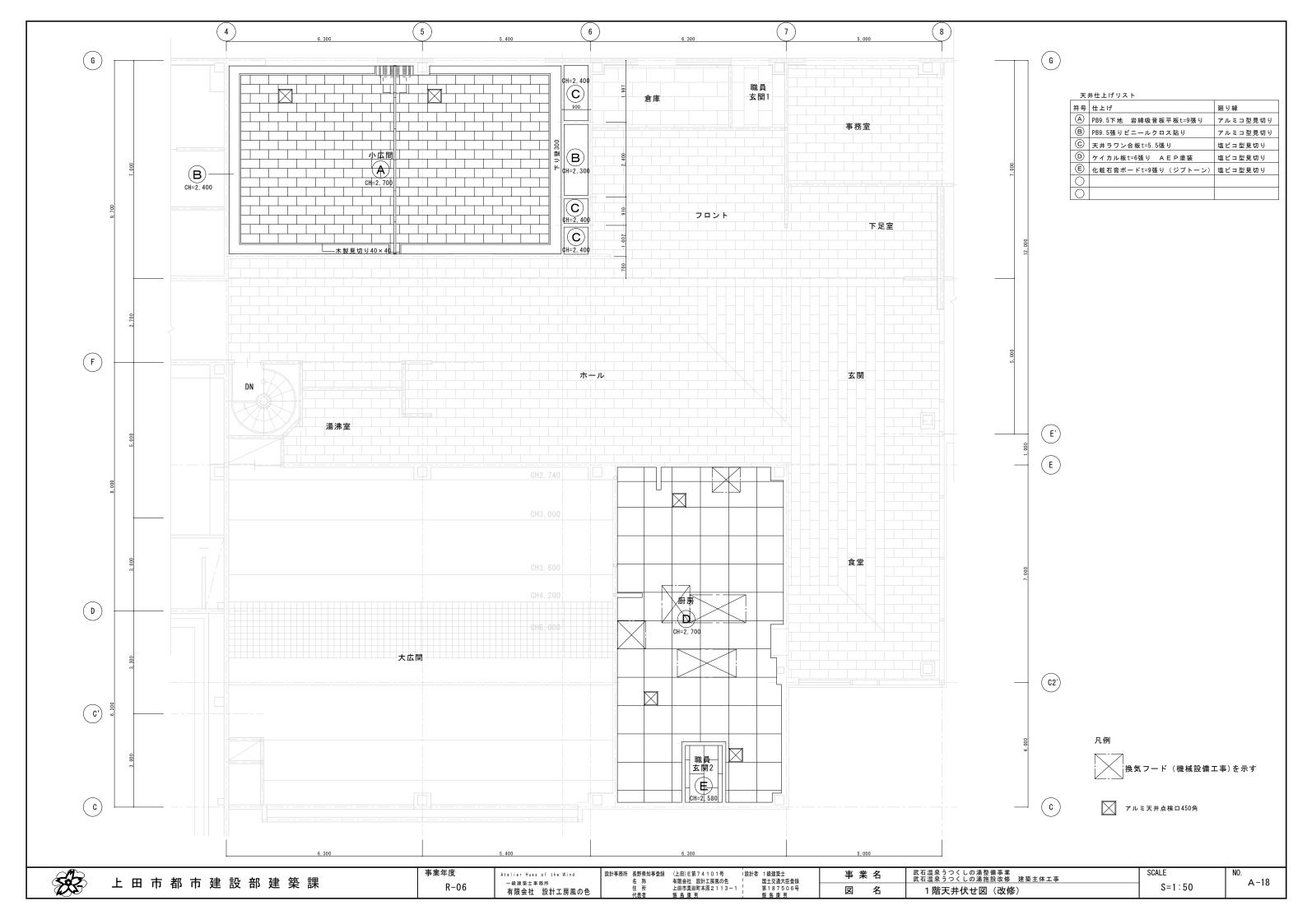
武石温泉うつくしの湯整備事業 武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事 事 業 名 図 名 仕上表(現況・改修)

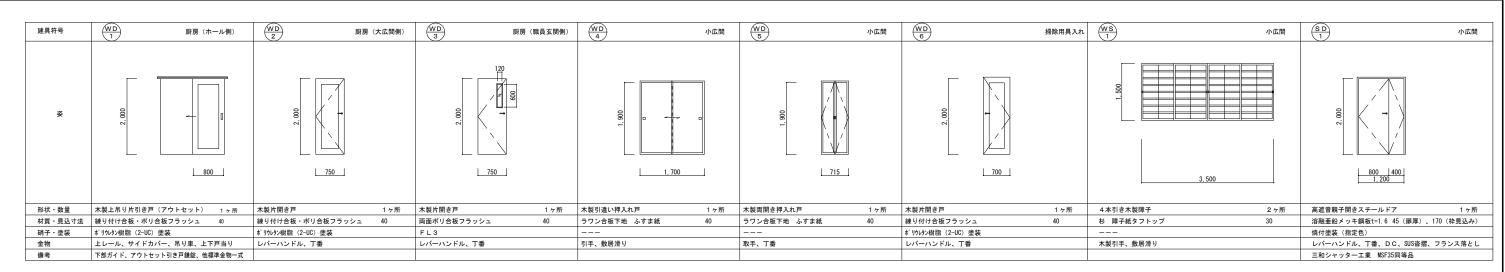


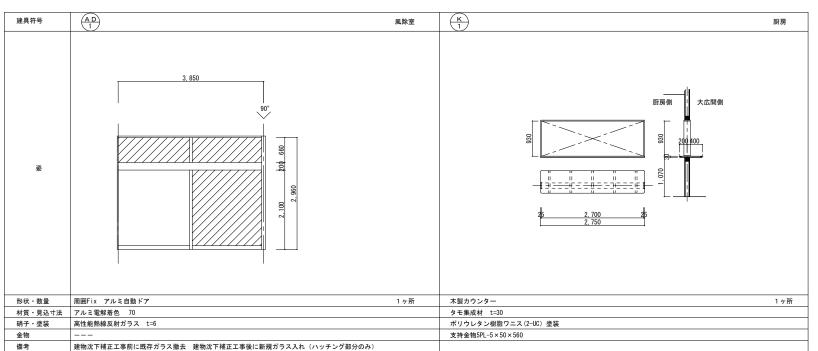


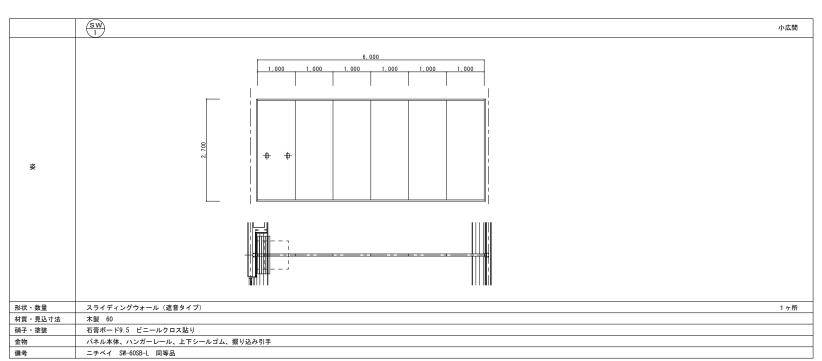


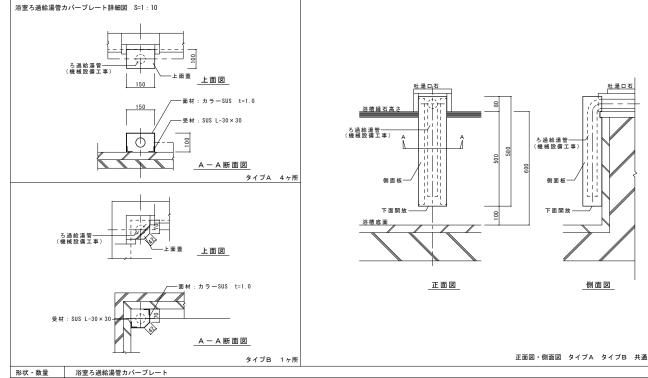


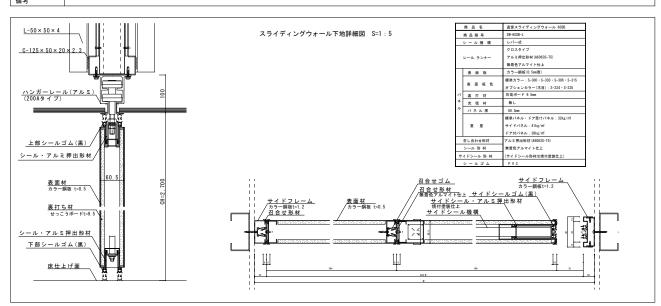








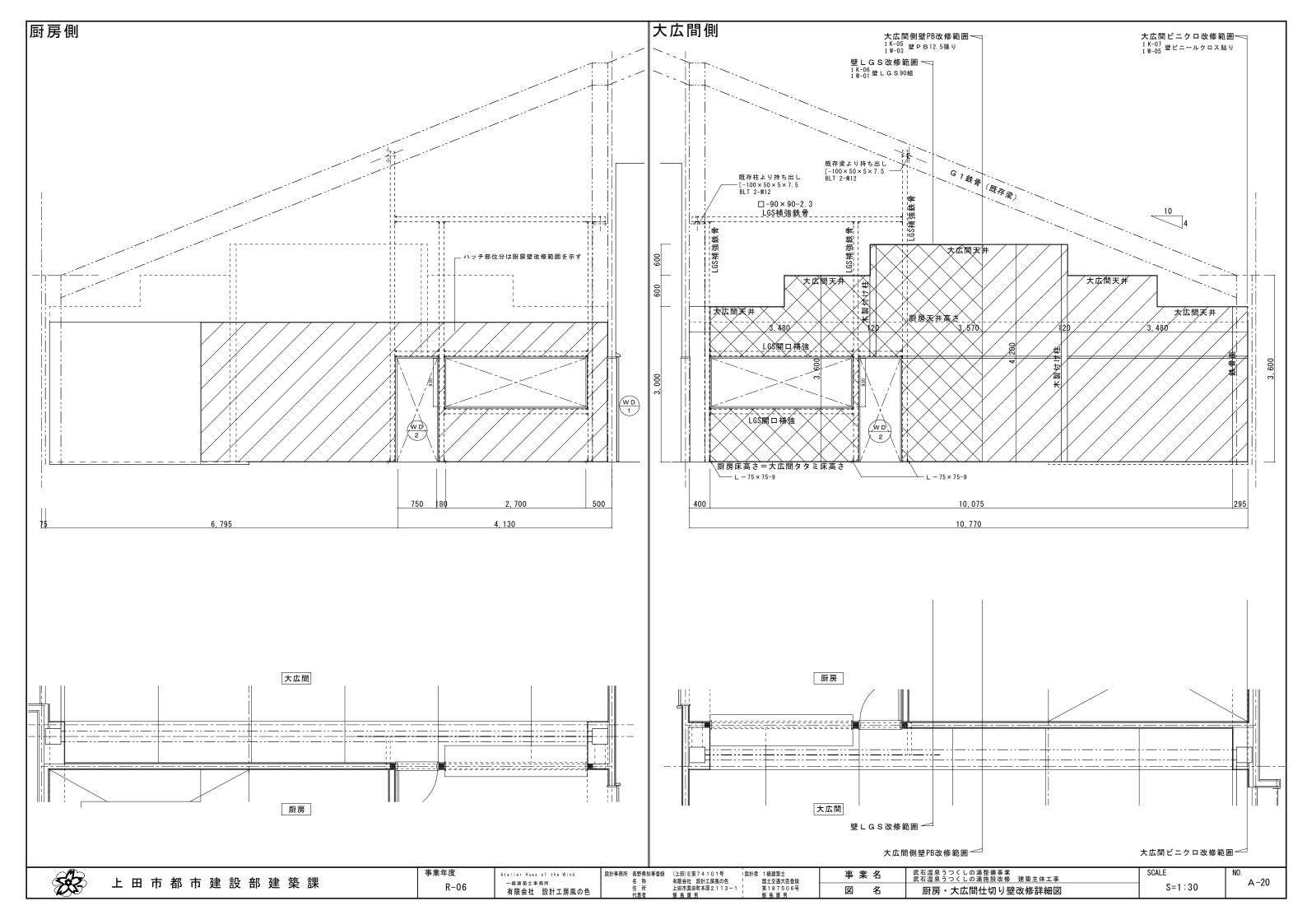


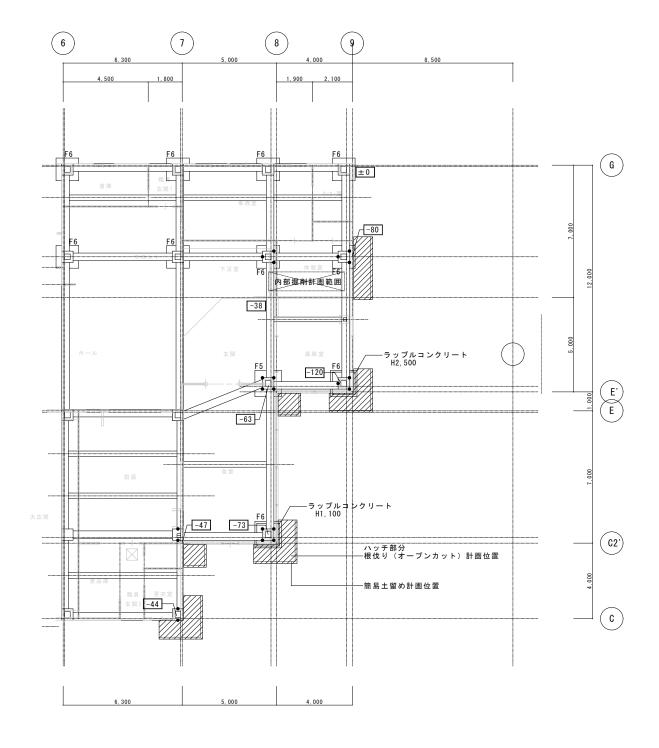


材質・見込寸法 カラーSUS t=1.0

下地L-30*30 (SUS)

硝子・塗装 金物





作業手順書

11 21 2 2 2	
① 掘削工事	作業スペースの確保の為、基礎下まで掘削を行う(外部掘削工)
	建物下に潜り込むために掘削を行う(内部掘削工)
	掘削をした箇所の崩落を防ぐため簡易土留め工を行う。
	 簡易土留めは矢板(土留め壁)としてコンパネ同等の合板程度を使用し、
	 杭は単管パイプ48.6φを900@程度に土中に指示するものとする。
② 解体工事	 一部(2箇所)基礎下に既存のラップルコンクリートがあるので、解体する。
③ 鋼管圧入工事	鋼管を図示の位置に配置し、既存基礎を反力として順次継ぎ足しを行いながら
	ジャッキを用いて鋼管杭を支持地盤まで圧入する。継ぎ足しは1m鋼管杭。
	支持地盤に達したら、ジャッキベースを設置する。
④ ジャッキアップ	全ての箇所にジャッキベースを設置完了したら、当該場所の沈下深さを建物水平レベル
	までジャッキアップ(使用ジャッキ200KNレベル)し、レベルチェックを行う。
⑤ 埋戻し・空隙充垣工事	ジャッキアップにより確認できた空隙をセメントと膨張材の混合材で充填する。
<u> </u>	設置したジャッキベース周り・掘削した部分を固化剤・土で埋戻しを行う。
	整地する。
	12.07 00

- ※建物周りのアスファルトや障害物の撤去・復旧は外構解体指示図及び外構復旧指示図による。
- ※建物に付いているガラス・サッシの復旧については建具表による。
- ※沈下深さについては建物調査時点の数値なので、工事前に再計測を行うこと。 その際設計図の沈下深さと再計測値が異なる場合は監督員の指示を受けるものとする。

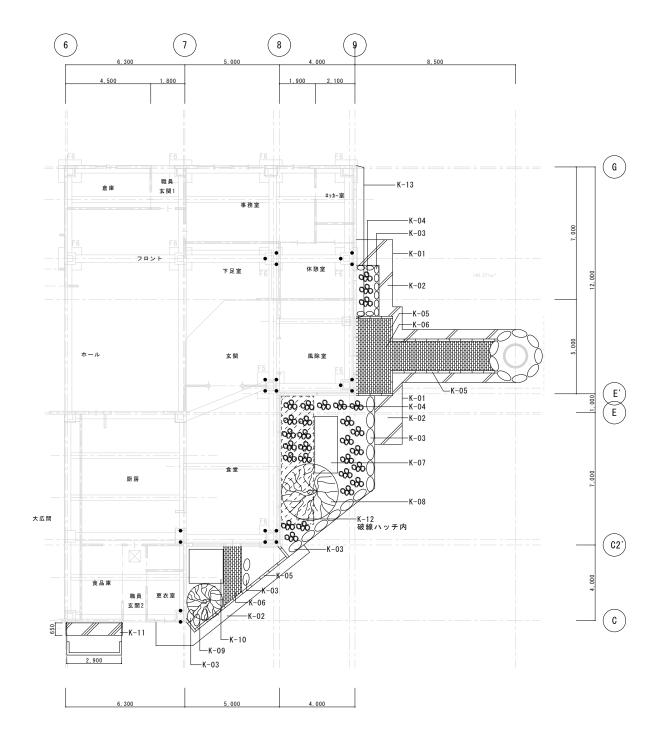
鋼管杭仕様書

710 100 E IN E	
使用鋼管	ϕ 165. 2mm t = 6. 0mm (JIS G3444 STK)
本数	21本
	·
圧入長	L=9.0m (L=1.0m継ぎ足し)
継ぎ手	溶接又はネジ切り
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

凡例

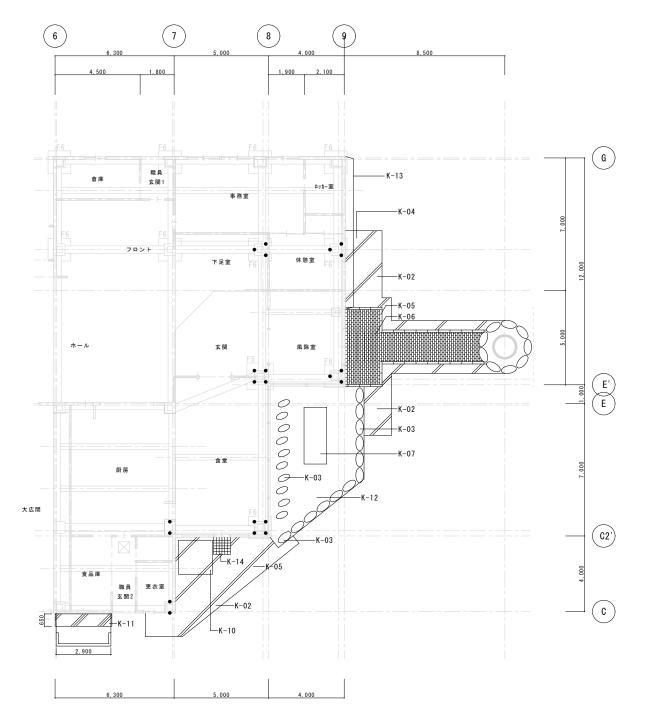
[-80] 当該場所の沈下深さを示す

• 鋼管杭の位置を示す



外構解体指示図 ^{解体エ事リスト}

解体工事リスト		
符号	解体内容	
K-01	アスファルト舗装カット	
K-02	アスファルト舗装撤去・処分	
K-03	自然石縁石撤去処分	
K-04	密植サツキ撤去処分	
K-05	コンクリート縁石撤去処分	
K-06	インターロッキング撤去処分	
K-07	庭石 (3.0×1.2×1.1) 一時隣接移動保管	
K-08	植木 (赤松) 撤去処分W3.0, H6.0程度	
K-09	植木 (モミジ) 撤去処分W2.0, H5.0程度	
K-10	プレハブ喫煙所一時撤去場内保管・再設置W1.8,D1.8H2.5	
K-11	コンクリート土間解体撤去	
K-12	埴土撤去H=0.3	
K-13	ALC下端コーキング撤去	



外構復旧指示図 解体復旧・改修リスト

符号	復旧内容	復旧仕様
K-01		
K-02	アスファルト舗装復旧	砕石路盤t=150、粒調砕石t=100、密粒アスコンt=40
K-03	場内保管既存石再設置	
K-04		
K-05		
K-06	インターロッキング復旧	インターロッキング新規品復旧t=6、敷砂t=30砕石路盤t=100
K-07	場内保管庭石再据付け	
K-08		
K-09		
K-10	場内保管再設置	コンクリート=t150、D10@200シングル
K-11	新規再構築	コンクリート=t120、D10@200シングル、根入れ300
K-12	玉砂利敷きt=70	
K-13	ALC下端コーキング打ち	アクリルコーキング (既存色に合わせ着色)
K-14	踏込み土間新設	砕石t=150+土間コンt=120(鉄筋D10@200シングル、差し筋アンカー) (根入れ300) 磁器150角タイル貼り

